

令和３年度原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業
（周辺地域と連携した広域観光ルートの開発による観光流動の活性化に係る調査事業）

-調査報告書-

令和４年２月
ランドブレイン株式会社

目 次

1 はじめに.....	1
1-1 本事業の背景と目的.....	1
1-2 事業の実施概要.....	1
2 令和3年度における活動計画.....	2
2-1 各種会議における令和3年度の実施計画.....	2
2-2 令和3年度における活動計画.....	7
3 体験コンテンツの掘り起こしと体系的整理.....	8
3-1 体験コンテンツのリスト化整理.....	8
3-2 潜在的体験コンテンツの掘り起こし.....	15
4 広域観光ルートの試行的実践・検証.....	17
4-1 実施概要.....	17
4-2 広域観光ルート試行結果.....	19
4-3 広域観光ルート試行による成果及び課題.....	23
参考 読売旅行実施ツアーにおける評価およびその後の展開.....	25
5 広域検討会の実施.....	26
5-1 広域検討会の実施概要.....	26
5-2 広域検討会における主な協議・意見内容.....	28
6 広域観光圏の観光関連事業者が集う共創会議の開催.....	30
6-1 共創会議の企画.....	30
6-2 共創会議の推進体制の検討.....	33
6-3 共創会議の実施意義等の周知.....	33
7 広域観光の方向性および令和4年度以降の活動方針.....	34
7-1 広域観光の方向性.....	34
7-2 広域観光の推進体制.....	37
7-3 具体事業計画.....	38
7-4 セールスツール（案）の整理.....	42
7-5 令和4年度において取り組むべき重点事項.....	45

1 はじめに

1-1 本事業の背景と目的

玄海原子力発電所の立地自治体である玄海町は、観光資産として「浜野浦の棚田」を有しており、ゴールデンウィーク期間を中心に多くの写真愛好家等が来訪しているが、町内に消費の受け皿が少なく、また時期もゴールデンウィークに集中するなどの課題があり、年間を通じた観光流動の拡大や消費促進による地域経済への波及効果を高めることが課題となっている。

町では令和2年度、観光戦略を策定し、観光施策を進めているが、交流人口の拡大には、町単独では観光資産や人的リソースが十分ではないという課題があり、その解決のために、玄海町を含む広域観光圏について、

- (1) 現状把握やポテンシャル調査などのマーケティング分析、地元観光関連事業者との協議
 - (2) 周辺自治体と連携した広域観光の可能性と持続可能な観光事業について検証
 - (3) 周辺自治体との体制づくりや広域観光ルート開発、プロモーション活動等の取り組み
- を段階的に進めていくことが求められている。

令和2年度においては、広域観光の推進に向けた活動ロードマップ等を作成したが、令和3年度も引き続き、九州経済産業局において、広域連携による観光振興のための取り組みを支援するとともに、魅力ある観光ルートの開発や受入れ体制構築に必要な調査事業を行うことを目的とする。

1-2 事業の実施概要

本事業は以下について検討・実施を行った

① 玄海町と広域の官民で構成される広域検討会の開催及び活動計画・活動方針の策定

玄海町と広域の観光振興に関係する官民で構成される広域検討会を立ち上げ、4回実施する。令和2年度の調査事業で作成されたロードマップに基づき、アドバイザーによるアドバイスをもとに、令和3年度の活動計画および令和4年度以降の活動方針を策定する。

② 体験コンテンツの掘り起こしと体系的整理

広域観光圏の基本エリアにおいて、体験コンテンツの掘り起こしと体系的整理を行う。なお、すでに商品化(有償化)されているものだけでなく、体験の提供はできるが商品化に至っていないものや、受入体制や提供時期等の課題によって商品化できていない潜在的な体験も含めて、調査し、掘り起こしを行う。

③ 広域観光ルートの試行的実践・検証

広域検討会で令和2年度に作成した広域観光ルートを精査し、モデルとして1つのルートを取り上げて、モニターツアーを試行的に実施する。モニターツアーは、ターゲットやコンセプトに沿ったモニターを集め、参加者からのフィードバックを目的に実施するものとする。

④ 広域観光圏の観光関連事業者が集う共創会議の開催

広域観光圏の基本エリアに立地する観光関連事業者(観光施設・宿泊施設・飲食店・直売所等の物販施設など)等に呼びかけて、エリア一体となった持続的な観光地域づくりに向けて、今後の連携プラットフォームとなる共創会議を立ち上げ、1回開催する。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での会議は中止。今後の共創会議実施に向けて事業者に対して、企画や参加メリット等の周知を行った。

2 令和3年度における活動計画

2-1 各種会議における令和3年度の実施計画

令和3年度の活動計画について定め、以下の実施計画に基づき各種会議を予定・実施した。

(1) 広域検討会における実施計画

① 実施計画概要

検討会の 位置づけ・目的		体験コンテンツの掘り起こしや広域観光ルートの試行・検証、各種会議結果などを踏まえ、広域観光の推進体制や、観光事業、広域観光ルートの方向性等を広域観光圏の各関係者（下記参照）と協議・検討し、広域観光を推進するための体制や事業内容等を含めた活動方針を整理する。
参加者	自治体	○ 玄海町（企画商工課） ○ 唐津市（観光課）※オブザーバー
	関係団体	○ 一般社団法人玄海町みんなの地域商社（以下、地域商社と呼称） ○ NPO 法人唐津・玄海観光交流社（以下、交流社と呼称） ○ 一般社団法人唐津観光協会（以下、観光協会と呼称） ○ 唐津上場商工会（以下、商工会と呼称） ○ 九州電力 ※オブザーバー
	アドバイザー	○ 大方 優子 教授【アドバイザー】 ○ 武知 眞一 氏【アドバイザー】
	事務局	○ 九州経済産業局 ○ ランドブレイン株式会社（堀口ほか、社員）【コーディネーター】 ○ 株式会社読売旅行
実施会議・時期		主な協議内容
第1回	令和3年 10月1日	○ 事業実施内容の確認 ○ 令和3年度の活動計画 ○ 体験コンテンツの整理状況 ○ 広域観光ルート試行プログラム
第2回	令和3年 12月21日	○ 広域観光ルート試行結果 ○ 広域観光の方向性・実施事業 ○ 共創会議のプログラム
第3回	令和4年 1月17日	○ 観光事業において地域商社に期待すること ○ 旧4町と地域商社との関わり
第4回	令和4年 2月10日	○ 共創会議等の推進 ○ 広域観光の各種具体事業・実施主体 ○ セールスツールのイメージ

② 想定するアドバイザーおよびコーディネーター

アドバイザーおよびコーディネーターを以下に定め、検討会の運営を行った。

氏名・肩書	業務内容に関する専門知識・知見	検討会議における役割 支援の視点等
おおかた ゆうこ 大方 優子 九州産業大学 地域共創学部 観光学科 教授	観光学を専門とし、観光者の行動・心理、観光産業におけるマーケティングの研究を行っている。福岡県観光審議会委員を務めた経験を有するほか、観光の専門家として、福岡県内を中心に多くの自治体で審議会委員等を務める。 ※令和2年度調査事業アドバイザー	【アドバイザー】 ○広域観光のあり方、観光事業の方向性に係る助言等 ○その他観光政策全般に係る助言等
たけち しんいち 武知 眞一 日本航空株式会社 地域事業本部 地域活性化プロデューサー	福岡県福智町、福岡県赤村の観光アドバイザーを務めるほか、福岡県朝倉市、佐賀県嬉野市、大分県竹田市などでは観光庁事業等を活用して、観光アドバイザーとして事業推進に貢献している。 日本航空では、バースディ割を発案するなど、観光運輸業の課題である季節格差の平準化を楽しく解決するアイデアで新たな商品づくりを行うほか、福岡県赤村では、JALが持つノウハウを活かして、「おもてなしの心」に触れる機会の演出や、平成筑豊鉄道の観光利用促進を目的とした、鉄道車両のペインティングプロジェクトなど、地域活性化事業などを実施している。	【アドバイザー】 ○広域観光ルート開発やその推進方策、商品造成に係る助言等
ほりぐち さとる 堀口 悟 ランドブレイン株式会社 福岡事務所 所長	観光計画、戦略策定のみならず、地域おこしや、地域商社、DMO等の設立・事業化支援など管理技術者やプロジェクトマネージャーとして、計画策定から地域の体制構築、事業化支援まで豊富なマネジメント経験を有する。佐賀県玄海町（令和2年度に観光戦略策定）、福岡県うきは市、宮崎県宮崎市、熊本県山鹿市、鹿児島県薩摩川内市甕島など、数多くの自治体において、観光に関する実態調査と観光戦略策定の経験を有している。また、佐賀県玄海町においては、令和2年度に地域商社の設立を手掛け、令和3年2月に「一般社団法人玄海町みんなの地域商社」の設立・登記を実現した。 ※令和2年度調査事業コーディネーター	【コーディネーター】 ○会議の進行・運営等コーディネート ○観光推進体制や活動方針の構築等に係るコーディネート

(2) 共創会議における実施計画

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での会議は中止。今後の共創会議実施に向けて事業者に対して、企画や参加メリット等の周知を行った。

① 実施計画概要

意見交換会の位置づけ・目的		○ 広域観光圏の基本エリアの観光等事業者を中心に、参加者同士のコラボレーション事業を創出するための観光等事業者や専門家、コーディネーターを交えた勉強会やアイデアワークショップ等を実施し、令和4年度以降の精度の高いプロジェクト組成につなげる。 ○ 事業者同士の交流や学習の場、ひいては事業者の自発的な観光推進につながる連携プラットフォームの場の構築に向けて、本会議のような場を継続的に実施するきっかけを組成する。
参加者	事業者	○ 旧上場4町における観光施設・宿泊施設・飲食店・直売所等の物販施設などの事業者 ※玄海町や地域商社、交流社、商工会、読売旅行等から事業者へ呼びかけを行う
	関係団体	○ 地域商社 ○ 交流社 ○ 観光協会 ○ 商工会
	アドバイザー ファシリテーター 事務局	○ 玄海町（企画商工課） ○ 唐津市（観光課）※オブザーバー ○ 大方 優子 教授【アドバイザー】 ○ 武知 真一 氏【アドバイザー】 ○ 天野 英樹 氏【ファシリテーター】 ○ 九州経済産業局 ○ ランドブレイン株式会社（堀口ほか、社員）【コーディネーター】 ○ 株式会社読売旅行
実施時期		主な会議内容
令和4年 1月17日		【第1部】（14:00～16:00） 1. 話題提供（広域連携の意味と意義／観光行動（回遊性）の捉え方） 2. 意見交換（ワークショップ） 【第2部】（16:15～17:00） 交流会（名刺交換会）

② 想定するアドバイザーおよびコーディネーター

アドバイザーおよびコーディネーターを以下に定め、意見交換会の運営を行った。

氏名・肩書	業務内容に関する専門知識・知見	意見交換会における役割 支援の視点等
おおかた ゆうこ 大方 優子 九州産業大学 地域共創学部 観光学科 教授	観光学を専門とし、観光者の行動・心理、観光産業におけるマーケティングの研究を行っている。福岡県観光審議会委員を務めた経験を有するほか、観光の専門家として、福岡県内を中心に多くの自治体で審議会委員等を務める。 ※令和2年度調査事業アドバイザー	【アドバイザー】 ○広域観光の推進や事業者連携等に向けた事業者等への助言・コメント等
たけち しんいち 武知 眞一 日本航空株式会社 地域事業本部 地域活性化プロデューサー	福岡県福智町、福岡県赤村の観光アドバイザーを務めるほか、福岡県朝倉市、佐賀県嬉野市、大分県竹田市などでは観光庁事業等を活用して、観光アドバイザーとして事業推進に貢献している。 日本航空では、バースディ割を発案するなど、観光運輸業の課題である季節格差の平準化を楽しく解決するアイデアで新たな商品づくりを行うほか、福岡県赤村では、JALが持つノウハウを活かして、「おもてなしの心」に触れる機会の演出や、平成筑豊鉄道の観光利用促進を目的とした、鉄道車両のペインティングプロジェクトなど、地域活性化事業などを実施している。	【アドバイザー】 ○広域連携や商品造成など事業組成に関する助言等
あまの ひでき 天野 英樹 株式会社イーリアス 代表取締役	広告会社にてマーケティング及びプランニングに従事。JTBコミュニケーションズ九州在籍時から観光振興や地域振興、ツアー開発等に携わり、2012年(株)イーリアス設立。現在も観光振興やツアー開発を行うと同時に企業や地域の組織開発・人材開発に注力する。 事業領域は観光、企業販促、ダイバーシティ、防災など幅広く、マーケティングとファシリテーションスキルを駆使し様々な分野で活動している。	【ファシリテーター】 ○話題提供と意見交換（ワークショップ）全体のファシリテーション

氏名・肩書	業務内容に関する専門知識・知見	意見交換会における役割 支援の視点等
ほりぐち さとる 堀 口 悟 ランドブレイン株式会社 福岡事務所 所長	観光計画、戦略策定のみならず、地域おこしや、地域商社、DMO等の設立・事業化支援など管理技術者やプロジェクトマネジャーとして、計画策定から地域の体制構築、事業化支援まで豊富なマネジメント経験を有する。佐賀県玄海町（令和2年度に観光戦略策定）、福岡県うきは市、宮崎県宮崎市、熊本県山鹿市、鹿児島県薩摩川内市甕島など、数多くの自治体において、観光に関する実態調査と観光戦略策定の経験を有している。また、佐賀県玄海町においては、令和2年度に地域商社の設立を手掛け、令和3年2月に「一般社団法人玄海町みんなの地域商社」の設立・登記を実現した。 ※令和2年度調査事業コーディネーター	【コーディネーター】 ○共創会議の進行・運営等 コーディネート ○ワークショップによる アイデアや意見等のとりまとめ支援

2-2 令和3年度における活動計画

令和3年度における活動計画は以下のとおりである。

令和3年度		令和4年度以降の活動方針策定																														
年度⇒	月⇒	8				9				10				11				12				1				2						
日(全て月曜日の日)⇒	月⇒	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	3	11	17	24	31	7	14	21	28
平日日数⇒	月⇒	5	4	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	4	5	5	4	5	5	5	5	5	4	5	5	4	5	4	5	
第1回検討会		第1回検討会 ✓ 事業実施内容の確認 ✓ 令和3年度の活動計画 ✓ 体験コンテンツの整理状況 ✓ 広域観光ルート試行プログラムを主に協議																														
1. 玄海町と広域の官民で構成される広域検討会の開催		第2回検討会 ✓ 広域観光ルート試行結果 ✓ 広域観光の方向性・実施事業 ✓ 共創会議のプログラムを主に協議																														
広域検討会(全3回)		第3回検討会(地域商社との意見交換) ✓ 観光事業において地域商社に期待すること ✓ 旧4町と地域商社との関わりを主に協議																														
令和3年度の活動計画 ※本資料		第4回検討会 ✓ 共創会議等の推進 ✓ 広域観光の各種具体事業・実施主体 ✓ セールスツールのイメージを主に協議																														
次年度以降の活動方針		調整等																														
2. 体験コンテンツの掘り起こしと体系的整理		修正・ブラッシュアップ																														
体験コンテンツの整理		資料提供																														
3. 広域観光ルートの試行的実践・検証		資料提供																														
モニターツアーの実施等		整理・とりまとめ作業																														
4. 広域観光圏の観光関連事業者が集う共創会議の開催		反映																														
共創会議		課題整理																														
報告書整理		準備等																														
報告書整理		ツアアの方向性等の																														
報告書整理		プログラム詳細整理																														
報告書整理		準備等																														
報告書整理		11/24 11/25																														
報告書整理		※ 1/17																														
報告書整理		プログラム構																														
報告書整理		募集・準備																														
報告書整理		報告書作成																														

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での会議は中止。今後の共創会議実施に向けて企画や参加メリット等の周知を行った。

3 体験コンテンツの掘り起こしと体系的整理

「体験コンテンツの掘り起こしと体系的整理」は広域観光ルートの検討に向けて、地域内の観光消費につながる体験コンテンツや、今後観光商品になり得る観光素材を整理することで、広域観光における活動方針の整理および令和4年度以降に推進する旅行商品造成に活用できるようリスト化整理を行うものである。

3-1 体験コンテンツのリスト化整理

交流社や地域商社をはじめ、各種観光団体が提供している、又は提供を検討している体験コンテンツ、潜在的な体験コンテンツについて調査し、それらを以下の視点で整理した。

整理の視点	整理の内容
分野	「体験プログラム（団体・施設の提供コンテンツ・事業者個別の提供コンテンツの別）」や「地域資源・事業者等（直売所・加工所、展示施設・学習施設の別）」などコンテンツの分野を整理
地域	旧上場4町のうちどこで体験が提供されているかを整理
施設・事業者	体験を提供する施設又は事業者を整理
提供メニュー	既に商品化されているメニュー、又は、新たに提供できそうなメニューの内容および概要を整理
料金体系	提供メニューの価格及び料金体系について整理
受付方法	予約受付がどこでできるか（電話・ホームページなど）について整理。
提供時期	オールシーズンで体験可能なものか。季節限定で体験可能なものか等、体験メニューの提供時期を整理
対象者	一般向け、又は民泊者向けに分けて整理。

次頁以降に、体験コンテンツのリストを示す。

体験コンテンツリスト

[] 網掛け部分は調整中、未商品化の潜在コンテンツ

分野		地域	施設・事業者例	提供メニュー	料金	受付方法	提供時期	対象者
体験プログラム	団体や公共施設等で現在提供している体験プログラム	旧4町全域	唐津・玄海観光交流社（予約代行）	海の生物観察体験 ・ 体験時間/60分 ・ 催行人数/20名～70名	1,980円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				船釣り体験 ・ 体験時間/120分～180分 ・ 催行人数/10名～20名	5,500円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				波止場釣り体験 ・ 体験時間/120分 ・ 催行人数/20名～40名	3,200円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				地引網体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/40名～150名	88,000円／1網	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				シーカヤック体験 ・ 体験時間/120分 ・ 催行人数/10名～20名	3,080円／1人	HP・電話	4～11月	民泊者及び一般
				ヨットほかマリンスポーツ体験 ・ 体験時間/180分 ・ 催行人数/20名～40名	5,500円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				渓流登り体験 ・ 体験時間/120分 ・ 催行人数/30名～80名	4,950円／1人	HP・電話	6～9月	民泊者及び一般
				佐賀牛マイバーガー作り体験 ・ 体験時間/120分～150分 ・ 催行人数/20名～36名	2,750円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				唐津焼手びねり体験 ・ 体験時間/120分～180分 ・ 催行人数/10名～120名	4,400円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				魚さばき体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/10名～20名	1,430円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				イカの一夜干し体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/10名～20名	1,650円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				甘夏ゼリー作り体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/10名～36名	1,980円／1人	HP・電話	4～6月 10～3月	民泊者及び一般
				和菓子作り体験 ・ 体験時間/60分 ・ 催行人数/10名～36名	2,090円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				呈茶体験 ・ 体験時間/60分 ・ 催行人数/10名～40名	990円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				そば打ち体験 ・ 体験時間/60分 ・ 催行人数/10名～20名	1,650円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				ジャム作り体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/10名～40名	1,650円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				田舎饅頭作り体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/10名～40名	1,430円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				竹炭ストラップ作り体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/10名～20名	1,980円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				座禅と写経・お坊さん体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/20名～60名	2,090円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				新鮮な魚を使いマイバーガー作り体験 ・ 体験時間/120分 ・ 催行人数/10名～30名	2,090円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				唐津の海でシュノーケリング体験 ・ 体験時間/180分 ・ 催行人数/10名～30名	6,050円／1人	HP・電話	3～11月	民泊者及び一般
				手打ちうどん作り体験 ・ 体験時間/120分 ・ 催行人数/10名～20名	1,650円／1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般

分野		地域	施設・事業者例	提供メニュー	料金	受付方法	提供時期	対象者
				竹細工体験 ・ 体験時間/60分～90分 ・ 催行人数/10名～60名	1,540円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				溪流釣り体験 ・ 体験時間/120分～180分 ・ 催行人数/15名～30名	3,300円/1人	HP・電話	3～5月 10～11月	民泊者及び一般
				九州オルレ 唐津コース ～名護 屋城跡（ガイド案内付き） ・ 体験時間/120分～180分 ・ 催行人数/20名～120名	800円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				漁師と漁船で行く 鰯のエサやり&魚さばき体験 ・ 体験時間/90分 ・ 催行人数/10名～20名	2,750円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				魚コロッケ作り体験 ・ 体験時間/60分 ・ 催行人数/10名～20名	1,650円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				SUP 体験 ・ 体験時間/120分 ・ 催行人数/10名～30名	6,050円/1人	HP・電話	4～11月	民泊者及び一般
				海の生物観察体験+甘夏ゼリー作り体験 ・ 体験時間/150分 ・ 催行人数/40名～70名	3,960円/1人	HP・電話	4～6月 10～3月	民泊者及び一般
				海の生物観察体験+魚さばき体験 ・ 体験時間/150分 ・ 催行人数/20名～40名	3,410円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				海の生物観察体験+イカの一夜干し体験 ・ 体験時間/150分 ・ 催行人数/20名～40名	3,630円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				海の生物観察体験+魚コロッケ作り体験 ・ 体験時間/150分 ・ 催行人数/20名～40名	3,630円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				波止場釣り体験+魚さばき体験 ・ 体験時間/150分 ・ 催行人数/10名～20名	4,630円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				波止場釣り体験+イカの一夜干し体験 ・ 体験時間/150分 ・ 催行人数/10名～20名	4,850円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
				シーカヤック体験+そば打ち体験 ・ 体験時間/180分 ・ 催行人数/10名～40名	4,730円/1人	HP・電話	4～11月	民泊者及び一般
				シーカヤック体験+田舎饅頭作り体験 ・ 体験時間/180分 ・ 催行人数/10名～20名	4,510円/1人	HP・電話	4～11月	民泊者及び一般
				和菓子作り体験+呈茶体験 ・ 体験時間/150分 ・ 催行人数/10名～36名	3,080円/1人	HP・電話	通年	民泊者及び一般
		玄海町	玄海海上温泉パレア	温泉 ・ 10:00～22:00(受付は21:00まで)	大人 500円 子供 300円 シニア 65歳以上 400円 他	予約不要	通年	一般
				プール	大人 500円 子供 300円	予約不要	通年	一般
				ヨガ教室 ※今年度からスタート ・ 18:30～19:30	1人 500円	電話	毎週水曜日	一般
				佐賀牛と玄海の幸満喫日帰り温泉プラン(平日限定) ・ 個室利用時間/10:00～21:00 ・ 2名～4名	1人 4,500円/8,000円/10,000円	HP・電話(5日前まで要予約)	通年 (平日限定)	一般
				食事	－	－	通年	一般
				マルシェ(きてろ祭) ※今年度からスタート	無料	予約不要	不定期	一般
				RVパーク(オートキャンプ場) ・ 16:00～翌朝 11:00	2,500円(1500w まで電気利用 料込み)	予約不要	通年	一般
			玄海町みんなの地域商社 (予約代行)	シーカヤック体験 (提供できるように調整中)	詳細整理中	△ 詳細調整中	3～11月 日程調整中	一般
				ピザづくり体験	1人 3,300円	予約	通年	一般
				魚のえさやり・魚さばき体験	1人 3,800円	予約	通年	一般
		旧呼子町	小友キャランコビーチ	海水浴場	－	－	通年	一般
			呼子大橋 弁天遊歩橋	遊歩橋	－	－	通年	一般

分野		地域	施設・事業者例	提供メニュー	料金	受付方法	提供時期	対象者
		旧鎮西町	唐津観光協会 (予約代行)	馬渡島で釣り体験 ・ 体験時間/3 時間 ・ 受付人数/1 人～5 人	1 人 2,000 円～	HP (1日前までの事前予約)	通年	一般
			波戸岬少年自然の家	カッター活動 ・ 1 艇の乗船人員は 20～24 名	2,500 円/1 艇	HP・電話	通年	一般
				魚釣り ・ 釣り竿・リール・ライフジャケット貸出	50 円/1セット	HP・電話	通年	一般
				シュノーケリング ・ シュノーケルマスク・ライフジャケット貸出	100 円/1回	HP・電話	通年	一般
				グラウンドゴルフ	200 円/1 時間ごと	HP・電話	通年	一般
				ディスクゴルフ	200 円/1 時間ごと	HP・電話	通年	一般
				バタンク	200 円/1 時間ごと	HP・電話	通年	一般
				野外炊飯 (カレーライス・焼きそば)	600 円/1 人 ※材料代・薪代含む	HP・電話	通年	一般
				野外炊飯 (バーベキュー)	1,260 円 ※牛肉 160g、焼き野菜 4 品、ウインナー、油、タレ、ご飯付	HP・電話	通年	一般
				肥前名護屋城歴史ツーリズム協議会	バーチャル名護屋城ガイドツアー ・ 所要時間/60 分 ・ 9 時～15 時	400 円/1 人	HP (3 日前までに要予約)	通年
			場内ガイドツアー ・ 所要時間/40 分 ・ 9 時～15 時 30 分		200 円/1 人	HP (3 日前までに要予約)	通年	一般
			屏風絵めぐり ①桃山天下市～前田陣跡～山里口～広沢寺(40 分コース) ②～茶室跡～太閤井戸～鯉鉢池(70 分コース) ③～徳川陣跡～茜屋町～桃山天下市(120 分コース)		1 グループガイド 1 人に対し 40 分コース 1,500 円 70 分コース 1,800 円 120 分コース 2,000 円	HP (5 日前までに要予約)	通年	一般
			九州オルレ唐津コース ・ 所要時間/4～5 時間 ・ 9 時～		ガイド 1 人に付き スタート～名護屋城 2,000 円 名護屋城～フィニッシュ 3,000 円	HP (5 日前までに要予約)	通年	一般
			陣跡めぐり ①真田昌幸 & 足利義昭陣跡コース ②島津義弘陣跡コース ・ 所要時間/60 分 ・ 9 時～15 時		1 グループガイド 1 人に対し 2,000 円	HP (3 日前までに要予約)	通年	一般
			九州オルレ	九州オルレ唐津コース (コースのみ紹介)	－	－	通年	一般
			波戸岬キャンプ場	キャンプ場	オートサイト(日帰り 2,750 円～・1 泊 2 日 4,400 円～ 他) 一般サイト(日帰り 1,650 円～・1 泊 2 日 2,200 円～ 他)	HP	通年	一般
			波戸岬海水浴場	海水浴場	－	－	通年	一般
			鎮西町国民宿舎 波戸岬	日帰り入浴 ・ 11:00～19:00 毎週水曜日 15:00～19:00	大人 420 円/小学生 220 円 幼児(3 才～小学生未満)150 円 幼児(3 才未満)無料	予約不要	通年	一般
				食事	－	－	通年	一般
		旧肥前町	ふれあい自然塾ひぜん	キャンプ場	テントサイト(宿泊:4,400 円・日帰り:3,300 円) オートサイト(宿泊:7,700 円・日帰り:5,500 円)	HP・電話	通年	一般
				コテージ	一般コテージ(1 室 10,470 円) バリアフリー対応(1 室 18,850 円) 五右衛門風呂(大人 430 円 中学生 260 円 小学生 210 円)	HP・電話	通年	一般
				バーベキュー ・ 12:00～14:00・17:30～18:30	コテージプラン・オートサイト・テントサイトと各セット料金	HP・電話	通年	一般
				美人の湯 ・ 10:00～17:30	大人 1 名 800 円 小学生 400 円	予約不要	通年	一般
				SUP ・ 体験時間/2 時間(10:00～12:00 12:00～14:00 14:00～16:00)	4 名で申し込みの場合 1 人 3,000 円 3 名で申し込みの場合 1 人 3,500 円 2 名で申し込みの場合 1 人 4,000 円	HP (2 日前までに要予約)	4～11 月	一般
				シーカヤック ・ 体験時間/2 時間 ・ 定員/10 名程度要予約	2,080 円/1 人	HP (2 日前までに要予約)	通年	一般
				国民宿舎いろは島	SUP＋バーベキュー＋温泉(日帰りプラン)	1 人 8,000 円(4 名以上) 3 名の場合 1 人 500 円プラス 2 名の場合 1 人 1,000 円プラス	HP (要予約)	夏季
			ランチ休憩(食事、温泉、部屋貸出) ・ 11:00～14:00		1 人 3,850 円(2 名以上)	HP (前日までに予約)	通年	一般

分野		地域	施設・事業者例	提供メニュー	料金	受付方法	提供時期	対象者
				日帰り温泉 ・ 10:00～17:30	大人 800 円 子供 400 円	予約不要	通年	一般
				いろはビーチ	－	－	通年	一般
			肥前町棚田ウォーク実行委員会	肥前町棚田ウォーク(棚田というは島を巡る)	大人 1,000 円 小・中学生 500 円	はがき、 FAX、メール	5 月	一般
	各事業者が個別提供している体験プログラム	玄海町	漁家民宿 要太郎	こがねアジ餌やり、捌き体験 (刺身、塩焼き、煮付けの中から 2 つ選択) ・ 所要時間/1.5 時間 ・ 最低人数/2 人	3, 000 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				磯釣り ・ 所要時間/2 時間 ・ 最低人数/5 人	2, 000 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				竹細工 ・ 所要時間/2 時間 ・ 最低人数/2 人	2, 000 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				ランタン作り ・ 所要時間/2 時間 ・ 最低人数/2 人	2, 500 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				魚捌き ・ 所要時間/1 時間 ・ 最低人数/5 人	2, 000 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				握りずし ・ 所要時間/2 時間 ・ 最低人数/5 人	2, 000 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				流木細工(流木拾い有り) ・ 所要時間/4 時間 ・ 最低人数/5 人	3, 000 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				流木細工(流木拾い無し) ・ 所要時間/3 時間 ・ 最低人数/5 人	3, 000 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				うどん手打ち体験 ・ 所要時間/2 時間 ・ 最低人数/5 人	1, 500 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				貝殻絵付け ・ 所要時間/2 時間 ・ 最低人数/2 人	1, 500 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	通年	一般
				正月用餅つき体験とミニ門松作り体験 ・ 所要時間/3 時間 ・ 最低人数/要相談	4, 000 円/1 人	電話または専用 FAX 用紙にて 3 日前までに申込み	年末	一般
			たいけん民宿ふぁみいゆ	シーカヤック体験、ピザ作り、もちつき、魚釣り、古代米栽培、まこもだけ栽培(メニューはあるが一般向けの受付準備が整っていない)	△ 詳細要調整	△ 詳細要調整	通年？	一般
			海鮮料理魚山人	船での送迎を含んだ海鮮料理の提供	－	電話	通年	一般
			ルーチェスタガーデン	ハーバリウム教室(単発受入なら相談可能か)	×	×	×	一般
		旧呼子町	唐津観光協会(予約代行)	イカの一夜干し体験 ・ 体験時間/40 分～60 分 ・ 受付人数/4 名～20 名	1,620 円/1 人(送料別)	HP	通年	一般
			マリンパル呼子	海の生物鑑賞体験 ジーラ乗船 ・ 所要時間/40 分	大人(中学生以上)…2,100 円 小人(小学生)…1,050 円	予約不要	通年	一般
				イカ丸で七ツ釜遊覧体験 ・ 所要時間/40 分	大人(中学生以上)…1,800 円 小人(小学生)…900 円	予約不要	通年	一般
			杉の原放牧場	加部島の先端、三方を海に囲まれた放牧場	－	－	通年	一般
		旧鎮西町	茶苑 海月	呈茶体験 ・ 9:00～17:00	510 円(入苑、抹茶、和菓子)	予約不要	通年	一般
			殿山窯	工房見学 ・10:00～17:00	無料	－	不定休	一般
		旧肥前町	ファームログみうら	ピザ窯でのピザ作り ・ 所要時間/2 時間	2,500円/1 人 ※受付は2名から 3人目からは1人増えるごとに2,000円	予約不要	通年	一般
				季節の農作物の栽培・収穫	－	予約不要	通年	一般
				革細工 ・ 所要時間/1 時間	500 円～	予約不要	通年	一般
				シーカヤック体験＋ピザ体験	5, 500 円/1 人(受付は 2 名から)	予約不要	通年	一般

分野		地域	施設・事業者例	提供メニュー	料金	受付方法	提供時期	対象者
地域資源・事業者等	現地販売等をしている直売所・加工所	玄海町	仮屋湾遊魚センター	釣堀 ・ 7:00～16:00	Aコース(2時間 大人3,000円 高校生以下2,000円 他) Bコース(2時間 大人5,000円 高校生以下4,000円 他) Cコース(終日 大人10,000円 高校生以下9,000円) Dコース(終日 大人7,000円 高校生以下6,000円) 他	予約不要	通年	一般
				イカダ渡し ・ 7:00～16:00	大人3,000円 高校生以下2,000円	予約不要	通年	一般
				定置網貸切り ・ 7:00～16:00	70,000円	電話 (要予約)	通年	一般
				バーベキューセット貸出(焼網1尾付) ・ 7:00～16:00	5,000円	予約不要	通年	一般
			ふるさと発想館	農水産物直売・加工品直売	－	－	通年	一般
			松本アイス工房	手作りジェラート	－	－	通年	一般
			中山牧場直売所	佐賀牛肉直売	－	－	通年	一般
				食事(レストハウス、離れの小屋)	－	－	通年	一般
				マイバーガー作り	1セット800円(4セットから)	電話・メール(要予約)	通年	一般
			たくちゃんの宝	牡蠣やサザエの販売	－	－	通年	一般
			テントハウス 香匂姫	牡蠣小屋、魚・牡蠣販売(店内でさばくことも可)	－	－	通年 牡蠣小屋は シーズン限定	一般
			上場食肉	ハンバーグや特上和牛の販売 (特別価格での販売)	－	－	通年	一般
			焼肉とお食事の店 丸福	ハンバーグの販売	－	－	通年	一般
		旧呼子町	呼子朝市	農水産物直売	－	－	通年	一般
			呼子台場みなとプラザ	バーベキューコーナー(大漁鮮華)	小学生から大人1人/200円	予約不要	通年	一般
				フリーマーケット	無料	－	不定期	一般
				温浴室(呼子台場の湯) ・ 10:00～20:00	大人520円 子供310円 他	予約不要	通年	一般
			甘夏かあちゃん	甘夏ゼリー、甘夏アイス	－	－	通年	一般
		旧鎮西町	道の駅 桃山天下市	物産館(ときめき彩館)	－	－	通年	一般
				農産物直売所(桃山天下市会)	－	－	通年	一般
				水産物直売所(太閤魚市の会)	－	－	通年	一般
				食事(和食処 桃山亭海舟)	－	－	通年	一般
			愛郷ファーム	佐賀牛肉直売	－	－	通年	一般
				食事	－	－	通年	一般
			より道の駅えん屋	農産物直売	－	－	通年	一般
			波戸岬サザエつぼ焼き売店	サザエのつぼ焼き	－	－	通年	一般
	展示・学習施設	旧肥前町	ひぜん高串大漁市	農水産物直売	－	－	通年	一般
			切木農産物直売所	農産物直売	－	－	通年	一般
			農産物直売所にいこば204	農産物直売	－	－	通年	一般
				農産物直売	－	－	通年	一般
			ひぜん夢美咲	農産物直売	－	－	通年	一般
			かつちゃん亭	カキ小屋	－	－	シーズン限定	一般
		玄海町	玄海エネルギーパーク	展示室、エネルギー体験、植物園	無料	－	通年	一般
			玄海町次世代エネルギーパークあすびあ	アースラボ	大人200円 小中学生100円	予約不要	通年	一般
				ゴーカート	大人200円 小中学生100円	予約不要	通年	一般
				ロードトレイン	無料	－	通年	一般
				ソリゲレンデ	無料	－	通年	一般
				バーベキュー広場	無料	電話 (事前予約)	通年	一般
				ピクニック広場	無料	－	通年	一般
				野外コンサート広場	無料	電話 (事前予約)	通年	一般
			玄海町歴史民俗資料館	遺物、農具、古文書	無料	－	通年	一般
			玄海町薬用植物栽培研究所	薬用植物の見学	無料	－	通年	一般
		旧呼子町	鯨組主中尾家屋敷	県指定重要文化財 ・ 9:00～17:00	一般210円 小・中学生100円	予約不要	通年	一般
			呼子町観光物産館	捕鯨資料展示	無料	－	通年	一般
		旧鎮西町	玄海海中展望塔	海の中の水族館 ・ 4月～9月 9:00～18:00 10月～3月 9:00～17:00	大人560円 小・中学生270円	予約不要	通年	一般
			名護屋城博物館	展覧会、常設展示	無料(特別展は有料)	－	通年	一般
		旧肥前町	ぼたと緑の丘	植物園	シーズン中:大人520円、小中学生310円 シーズン外:大人310円、小中学生100円	予約不要	4/1～5/31	一般

※令和3年10月11日現在

3-2 潜在的体験コンテンツの掘り起こし

以下の3点については潜在的な体験コンテンツとして掘り起こしを行ったものである。特に今後、観光商品化として推進が期待されるものである。

(1) ピザづくり体験

コンテンツの概要	○ 生地から作って窯の温度調整まで、ピザ作りを本格的に体験 ○ 地産食材に詳しいオーナーが食材（トッピング）を厳選
価格	3,500 円～
体験提供者	地域商社が予約受付を実施 ※体験提供事業者：山口 氏
受付方法	アソビュー！HP から体験受付 (https://www.asoview.com/item/activity/pln3000035544/)
状況 (今後の課題)	○ 地域商社、事業者との協議調整により、体験コンテンツとして構築準備し、「アソビュー！」への掲載までに至っている。 ○ 今後は、体験の試行により、レビューを蓄積し、体験内容を改善していくほか、写真等の蓄積による PR 推進や、シーズナル商品、オプションプラン作成など、体験コンテンツの魅力化や拡充・充実を推進していく必要がある。

(2) 魚餌やり・魚捌き体験

コンテンツの概要	○ 黄金さばの餌付け、魚捌き体験。捌いた魚で漁師飯が堪能できる。 ○ 絶景のいけすに渡れる（絶景いけす上での写真撮影付き）
価格	3,800 円～
体験提供者	地域商社が予約受付を実施 ※体験提供事業者：要太郎
受付方法	アソビュー！HP から体験受付 (https://www.asoview.com/item/activity/pln3000036520/)
状況 (今後の課題)	○ 地域商社、事業者との協議調整により、体験コンテンツとして構築準備し、「アソビュー！」への掲載までに至っている。 ○ 今後は、体験の試行により、レビューを蓄積し、体験内容を改善していくほか、写真等の蓄積による PR 推進や、漁港マップ、体験の価値などを伝えられるプラン・資料作成など、体験コンテンツの拡充・充実を推進していく必要がある。

(3) シーカヤック体験

コンテンツの概要	○ 初心者や子供も楽しめる講習付きのシーカヤック体験プラン ○ アウトドアランチ、温泉券付き、ガイドによる写真撮影あり ○ 未経験者、女性明けのグループ、ペット同伴受入も可
価格	3,500 円～5,000 円
体験提供者	地域商社が予約受付を実施 ※協議調整中 ※体験提供事業者：山口洋一 氏
受付方法	アソビュー！HP から体験受付を予定 ※協議調整中
状況 (今後の課題)	○ 地域商社、事業者と体験コンテンツ化に向けて協議調整中であり、現在は、価格設定等の協議まで完了している。 ○ 今後は、事業者が無理なく体験を提供し続けていくための予約受付体制の整備や、体験内容の改善・魅力化を推進していく必要がある。

4 広域観光ルートの試行的実践・検証

4-1 実施概要

(1) 開催目的

玄海、呼子、鎮西、肥前の旧上場4町エリアにて、広域観光ルートの方向性の検討や広域観光推進に向けた課題を明らかにするため、モニターを観光有識者に限定し、観光客の視点、プロの視点と2つの視点から上記4町の観光素材に触れ、意見を集約する。

(2) 開催時期

2021年11月24日～25日（1泊2日）

(3) 参加者

1	河崎 靖伸	株式会社グローバルプロジェクト 代表取締役
2	西川 雅志	B&A門司港 事務局長
3	澤田 竜太	一般社団法人平戸観光協会 係長
4	末安 英三	武雄観光物産株式会社 執行役員
5	綾部 大輔	第一観光株式会社 企画1課課長
6	阿比留 久美	はねや総本家 営業課長
7	中村 章	株式会社カトーレジャーグループ 営業支配人
8	永井 雅久	エイキュウリンクス株式会社 代表取締役
9	小濱 麻衣子	株式会社アクティネットワーク社 営業
10	長坂 和也	株式会社読売旅行 主任

(4) 実施工程

(1日目)

博多駅筑紫口観光バス駐車場(9:30 集合)～玄海町役場(11:00)～【玄海町・浜野浦棚田(視察 11:10～11:35)】～【玄海町・美食倶楽部 富高岩(昼食 11:40～12:40)】～【玄海町・体験プログラム(漁船クルージング 13:00～14:00)】～【呼子町・加部島一本道(車窓)】～【呼子町・田島神社(参拝 14:30～15:00)】～【鎮西町・名護屋城跡(視察 15:15～16:15)】～旅宿よぶこ(16:30 着) 泊

(2日目)

ホテル(8:10)～【呼子町・呼子朝市(朝食 8:15～9:00)】～【肥前町・いろは島展望台(視察 9:40～10:20)】～【体験プログラム(みかん狩り 10:35～11:35)】～【玄海温泉パレア(昼食 11:45～13:00)】～【玄海町・松本アイス工房(視察 13:10～13:40)】～【玄海町・ふるさと発想館(視察 13:50～14:10)】～【玄海町・玄海町役場(意見交換会 14:30～16:00)】～博多駅(17時30分頃)

(5) 実施風景



4-2 広域観光ルート試行結果

(1) 施設別の各種意見

	良いところ	課題・改善・アイデア
(1) 浜 野 浦 の 棚 田 展 望 台	・ 原風景に魅力を感じた ・ 無里に観光地しなくてもいいのでは ・ 景色は素晴らしいものでした ・ 時期が悪かったにもかかわらず景色として素晴らしい ・ 雰囲気の良い場所で、とても新鮮でした ・ 棚田ウォークに使える	・ 見るだけの観光になっており、リピートしない ・ 駐車場問題も含め、持続可能な姿をもっと探った方が良い ・ 恋人の聖地として「カギ」の自動販売機の設置 ・ 課題として、開業期対策が必要 ・ 絵馬を下げる屋根がカーポート(筑前市の窓の木神社を参考に) ・ もっと知名度を上げるには、もう1つ仕掛けが必要 ・ 恋人の聖地として、絵馬と鍵等の販売を自動販売機にすると良いと思いました ・ あと工夫が必要 ・ カップルのお客様が多いようなので、インスタ等に投稿しなくなる仕掛けがあると更に楽しめると思いました ・ フォトスポットとして短時間帯とする方が、地元観光客双方にとって良い ・ 糸島ジャンプのような映えショットを撮れる看板を設置 ・ 水がないときの課題
(2) 昼食 富高岩	・ 幼稚園跡地の有効利用は良い ・ 面白い ・ 全国の課題でもある廃校、廃園のレストラン転用は素晴らしい ・ フレンチコースはとっても美しく頂きました ・ 個人で来るのは面白かったです ・ 女性にとっては良い施設かと思う ・ おしゃれでかわいいお店だったので、女性に喜ばれると思う ・ 味もとても良かったです ・ 女性にとっては、量内容とても良かった ・ 棚田に近いので抱き合わせて売り出すのが良い ・ 料理、店内雰囲気申し分なし ・ 様々なアレンジも可能 ・ 棚田、恋人の聖地との関係性を強める	・ 観光客には厳しい(わざわざフランス料理は?) ・ メニューの紹介が欲しい(地元産のものを使っている等) ・ 2,000 円別のランチを試食したが、メインディッシュの他にもう 1 品あれば、満足度が上がると思う ・ アイデア(幼稚園の改装等)は良いが、目玉的な一品が欲しい ・ 同半価でメインを肉か魚か選べるツアーはいいかも
(3) 漁船 クルー ジング	・ 漁船でクルージングできることに楽しさの理由があると思う ・ なかなかできない経験ができました ・ 素材はとても良いと思う	・ クルージングだけでは魅力にならない ・ 何か仕掛けが必要 ・ 航路道順の修正が必要 ・ 漁船、波よけ、座席が固い ・ 島の案内等のテープを流す ・ 案内人の同乗又は音声テープでの案内が必要 ・ 座席の設置(板こ座らせるのは危険) ・ 手書きのルートMAP作成 ・ クルージングの際に案内をテープなどの観覧案内があると良かったと思う ・ 船内でのガイドが充実すると良い ・ 女性や子供等への配慮が必要 ・ 目的地が1つ2つあると良い ・ 録音でもいいので、案内等があると嬉しいです ・ 漁船の椅子やオペレーションを整備する ・ 安全性の確保に課題あり ・ 目玉となる見せものがない ・ 棚田を海から眺めると良い(海上の都合?)
(4) 加部島 一本道、 田島神社	・ インスタ映えると思います ・ 海から鳥居に向けて上がる ・ ロケーションはすごく良かった ・ ドライブコースとしてもとてもいいと思います ・ 神社で撮った写真はインスタに上げたい写真でした ・ 景色としてはいいので、良い感じの写真で SNS 上げたら良さそう。でも、道が混みそう... ・ 神社の風景は良好	・ 田島神社・ガイドングが欲しい ・ 杉の原牧場とセットでPRするともっと注目されると思う ・ 室司様の案内があると更に良い ・ 観光受入として、もう少し商売があっても良いかと思えた ・ SNS への連携になるような目印やフォトスポットを示してあげると良いかも。言わないとわからない ・ 案内人が欲しい
(5) 名 護 屋 城 博 物 館、城跡	・ 魅力がある ・ もっと時間が欲しかった ・ 各武将の陣旅巡りがあって面白い ・ 城旅巡りのバーチャル体験は良い ・ 一番の観光素材 ・ 時間が足りないくらい楽しかった ・ 初めて行ったが、とても良い観光地であると感じた ・ 資料館での説明が良かったが、逆必須 ・ 見どころがあり楽しめました ・ 歴史好きな人には本当にいい場所だと思います	・ 館内より屋外バーチャル陣旅城跡巡りをプッシュすべき ・ iPad の返却が観覧案内所で返却できると便利かと思った ・ VR を使っても面白かったが、歴史に興味が無い人には厳しいかも ・ 個人若者と呼ぶなら、夜の謎解きとか花火イベントとかをやると面白そう ・ バーチャルタブレットの返却方法に難あり ・ 今後の企画展に期待
(6) 旅宿 よぶこ	・ コロナ対策もしっかりしていた ・ 部屋もきれいでお風呂も気持ち良かったです ・ 快適に過ごせる ・ 料理も美味しい ・ 古さはあるが、料理とても良い ・ おもてなしもとても良かった	・ 普通、温泉でないのが... ・ 自動販売機の水や茶の品切れが難点だった ・ 夕食は良かったが、人が少ない為か清湯が行き届いてない ・ 料理は美味しかったが、2 階奥の部屋は壁が薄く、隣の音がまる聞こえだった ・ 宿に設備には問題はないが、近くにコンビニ等もないので、ホテル内でコンビニの看板があると便利かと思う ・ 施設自体は良いが、近隣に何もない分、売店をもっと充実させて欲しいかった ・ 飲料水が高い

	良いところ	課題・改善・アイデア
(7) 呼子朝市	・ コロナが収束すれば客足は必ず戻ってくる魅力あるストリートだった ・ 鯨組主中尾家屋敷は良かった ・ 今回の量は、朝はきつい。でもお味噌汁は美味しいのでの飲めると嬉しい	・ 旅館と連動した朝食、朝市プラン等、工夫すると良い ・ 朝市の露天商が少ない ・ 以前の活気がない ・ 昔に比べて随分廃れて活気がなかった ・ もっと若い人に出店させてみては ・ お客さんが少なかったので、少々賑わいにかけましたが、お店数等もっとあると賑わいも出て良かったかと思う ・ その場で食べれる施設がもっとあった方が良い ・ 出店されている店子が少なく寂しく感じた ・ 人が少なかったので少し寂しかったです。 ・ もう少し活気があると嬉しいです ・ 朝市、朝食チケットとかで、自由度が上がるとよりいい(焼きたての干物を露店で食べられるとか) ・ もう少し朝市のにぎやかさが欲しい ・ 食事処も内容が良いただけにもったいない
(8) いろは 島展望 台	・ インスタ映えすると思います ・ サンセットよりサンライズの方が見応えがあると思う ・ 景観は最高 ・ 景色も素晴らしくて良かった ・ とてもきれいでした。思わず撮影したくなる場所でした ・ 想像より良かった ・ SNS 映えしそう ・ 午前中は逆光。午後からの見物が良い	・ 普通 ・ 大型バスが入らない ・ 個人プラン向きの提案 ・ 展望台に自動音声案内を設置してみてはどうか ・ 見晴らしは良かったので、観光スポットとしてもう少し整備されると団体旅行としても利用できるかと思った
(9) みかん 狩り体 験	・ 最高だった ・ 観光や農業は今後のトレンドになり得る可能性を感じます ・ とても美味しくて沢山頂いた ・ 料金をいくらに設定されるのか気になる ・ とにかく美味しかったです ・ 地元の方が親切なのが◎ ・ みかんも美味しい ・ インバウンド喜びそう ・ 品はとても良い ・ もっと観光化には良い品だと思う	・ 体験内容にプラスが欲しい ・ 今後は、みかん狩り体験→加工体験があれば良い ・ 大型バスが入らない ・ 個人プラン向きの提案 ・ みかんの質・量共に素晴らしいが、大型バスが進入できないのが問題 ・ とてもおいしいみかんでしたが、個人旅行には向いているが団体旅行としては、整備必要 ・ 美味しいみかんの選び方等の看板があると、みかん狩りがもっと楽しくなると思います ・ 案内板の設置 ・ 農家を集めて研修しても良いのでは
(10) 玄 海 海 上 温 泉 パレア	・ 玄海の景観を一望できるのが最大の魅力 ・ これからが楽しみな施設 ・ 料理は良かった ・ ロケーションが良いので期待できる ・ 佐賀牛、かご膳、天ぷら、肉寿司、料理は質・量共に素晴らしかった ・ 施設的に良い物かと思うので、観光客受入れとしてブラッシュアップされると夏場には家族旅行とかでは多くなりそう ・ 食事も良かったが施設、景観も素晴らしい ・ 景色も良かったので、色々な使い方の可能性はあると思う ・ 肉はかなり良質	・ 普通 ・ 観光体験の起点になると良いのでは ・ 昼食のボリュームは良いが、配膳の工夫が必要 ・ ツアーの取り込み ・ 使い方次第では、改善する余地は沢山あるかと思った ・ イベント等でもっと活きるのでは ・ 料理がとても量が多く、美味しかったです、少し多すぎる気がしました ・ 量がかなり多かった。にぎりや天ぷらなくても全然 OK。お肉は 3 枚くらいでちょうどです ・ 配膳の工夫は必要かと
(11) 松本 アイス 工房	・ ふるさと納税で人気でそう ・ 修学旅行に使える ・ みかんシャーベットを頂いたが、とても美味しく頂けた ・ アイスクリームはとても美味しかったです ・ アイスも美味しいし、子牛見れるのも若い子好きそう	・ 観光客が行くのは厳しい、個人で行った場合の牛の感染病にならないような対策が必要 ・ アイス自体は美味しいが、もっと景色の良い場所で食べれると尚更美味しく感じるはず ・ 牧場をもっと見れるようにすれば有料化もあるかと思えた ・ お土産で宅配等できるといいと思います ・ 単体とより、どこかと合わせて紹介する方がいい ・ お店が分かりにくい ・ 畜産体験できないか
(12) ふるさと 発想館	・ 地元の野菜が安くて日帰り客には喜ばれそう	・ お土産品が少ない ・ 他地区の商品開発等、差別化が必要 ・ 軽トラ市で呼子朝市に出店すると面白いかも ・ 道の駅がないので、道の駅の中に観光協会、情報発信、体験等 ・ 店自体が小さすぎて、このご時世、密になるのでは ・ 少人数で行くのは良いと思うが、大人数で行くのは厳しいのでは ・ 表にテント出している時間的販売ができれば良いかと思う ・ 地産地消が売りになるかと思うので、その辺りをもっとPR出来たら良いと思います ・ 地域密着型のお土産等が少ないかなという印象 ・ ツアーで寄る所とは違うかなというイメージ ・ お土産らしいお土産が売ってあればいいが、品物がなかったので、あくまでも地元の人が行くお店というイメージです ・ もっと海のものがあったら... ・ 夕方(帰り)の品揃えが不安 ・ 店内スペースは広さが欲しい ・ ツアー土産手配で活用可

(2) 意見交換により得られた各種意見

モニターツアー実施後

① 意見交換実施概要

実施日時	2021年11月25日 14:30~16:00
場所	玄海町役場 3階会議室4
参加者	○ 玄海町役場 ○ 地域商社 ○ ランドブレイン株式会社 ○ 各参加モニター
意見	<はねや総本家 阿比留 氏> ○ こんな場所があったのか、個人旅行向けの要素が充実している。 ○ 観光バスが入ることを考えると道路整備、駐車場整備が必要。団体受入は現在の環境だと難しい。 ○ 儲けられる部分が少ない（棚田の絵馬、南京錠は自販機の設置）。 ○ 食べるものはおいしいが、もう少し地産地消をPRしても良い。 <B&A 門司港 西川 氏> ○ 個人旅行型向けのコンテンツが多く、団体旅行では厳しい。 ○ 玄海＝原発イメージがあった。原発があるマイナスイメージ払拭が必要。 ○ 漁港を使った仕組みが作れないか。隣県地域（呼子）との連携は不可欠。収入面に課題がある。 <KPG ホテル&リゾート 中村 氏> ○ 自然景観が豊富なので、オルレコースを作ってみるのも良い。 ○ 風車付近等はコースとして可能性を感じる。歩いて、自転車で移動できる街だと思う。 ○ パレアの食事は良かった。 <エイキューリンクス 永井 氏> ○ いろは島展望台が印象的。みかん狩り体験や漁船クルージングが良い。 ○ 棚田の体験が弱い。体験要素やSNSに挙げたくなる仕組みが必要。 <平戸観光協会 澤田 氏> ○ みかん狩りなどSDGsの取組に可能性を感じる。ただ、みかん狩りができるだけではなく、そこでやる意味をつくる必要がある。原発以外で勝負できる。 <グローバルプロジェクト 河崎 氏> ○ 記憶に残るものがあまりない。良いものはあるが、観光のテーマとストーリーを絞って考える方が良い。 ○ お金を使う場所がない。棚田で人を集めても観光公害につながるだけ。 ○ 棚田の保全に繋がる取組として、ボランティアなどの取組に可能性がある ○ インバウンドの視点として、原発のテーマは難しい。食の安全性を活用した商品化に可能性を感じる ○ 観光のメインとして名護屋城は大きな要素となる。 ○ レストランなどにおいては、他地区との差別化が必要。 ○ 観光・情報の発信拠点や観光の核となる場所、「まずはここに行く」といった場所がない。道の駅を作り、情報を集積する方法も考えられる。

<第一観光 綾部 氏>

- 富高岩は観光としてオンリーワンの素材であるが、もうひとアクセントがあると良い。
- 漁船クルーズはガイド案内や音声アナウンスが必要。また、座席を乗せるにあたり、快適に座れるもや、大漁旗などの演出など体験としての課題はある。
- 玄海町＝原発のまちの印象。原発と一緒に何ができるのか考えることが必要。

<武雄温泉物産館 末安 氏>

- 情報を発信する場所が必要。客が情報を求めて観光協会（案内所）に来るという行動が玄海町にはないように思えた。
- 玄海牛を使えないか。旬の食事、体験をセットで販売するなど可能性を感じる。
- 花（ひまわりやコスモス）は投資額が割安なので、まとめたスペースで花を植えてみることも良い。差別化を図るため珍しい時期に植えるということも良い。

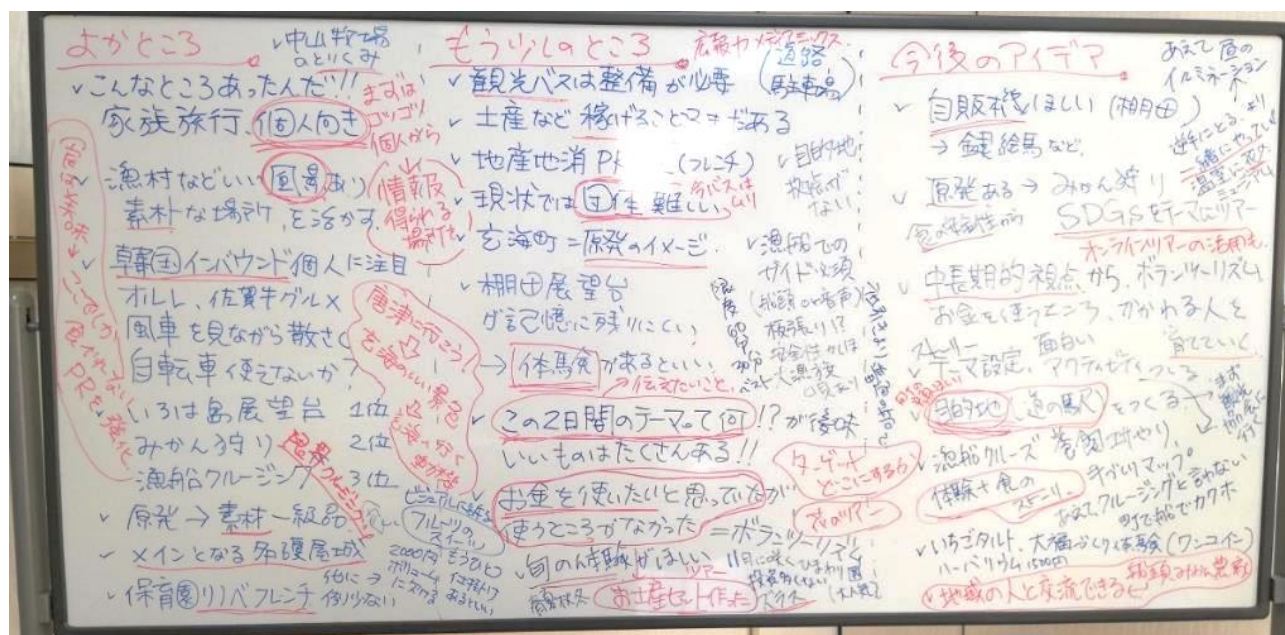
<アクティネットワーク社 小濱 氏>

- 景色が綺麗なところが多い。Instagramを活用。
- ここでしか食べられないものがあるのか？なかったように思う。
- 地域の方と交流ができるというテーマが欲しい。

<読売旅行 長坂>

- 今回訪れた食事施設以外にも飲食店は大小存在するが、土産品を購入する場所がなく、現地で情報収集できる場所もない。体制づくりの基軸が未成立な印象。
- オンラインツアーでの情報発信を行うことも考えられる。zoom などを活用したオンラインツアーは増えている。人との接触を絶たなければならなかったコロナ前期の目的とは異なり、新たな情報発信ツールとしての活用も近年注目されている。

【意見交換会記録】



4-3 広域観光ルート試行による成果及び課題

成果及び課題 ① エリアの風景価値をより活かしていくことが必要

「福岡からたった1時間半の場所に、こんないい場所があったんだ!」という新しい発見とも言える感動があった。漁村や棚田、穏やかな湾など心安らぐ風景があり、その素朴な価値こそが活かすべき資源である。しかしながら、エリアとして現状では「唐津へ行こう!」「呼子へ行こう!」の延長線上に、「近隣の良い風景をついでに見て行こう!」という来訪の動機付けに留まっており、旅の行動動機となるほどの強い目的地とはなっていない。

成果及び課題 ② 食の評価・期待は高いが、食のこだわりなどを伝える工夫や PR が必要

玄海海上温泉パレアの佐賀牛を中心としたランチコースは評価が高く、富高岩は元保育園のリノベフレンチというストーリーに関心が寄せられた。そのほか、イカ、サザエ、牡蠣、真鯛、ハウスミカン、いちごといった食材の宝庫だけに、一流の食材が食べられるエリアへの期待が高い。なお、富高岩は、なぜこの場所なのか、なぜフレンチなのかの理由のアピール（たとえば、地産地消へのこだわり、その説明をシェフ自らが行う機会をつくるなど）に課題があった。

成果及び課題 ③ 体験や観光資源の素材は良いが、観光資源としての磨き上げが必要

風景に代表されるように、地域資源の素材自体に可能性を感じた一方で、観光資源としてはひとつひとつの磨き上げが必要だと指摘があった。磨き上げといっても、伝えるという基本から、地域らしい付加価値づけまで様々な取り組みが考えられる。たとえば、田島神社では見るだけでなく地元の解説がほしいし、漁船クルージングではただ走る、見る、聞くだけでなく、真鯛のエサやりや牡蠣の水揚げの様子がみられるなど、仮屋湾らしい地元での体験を組み込んでほしい、といった意見があった。

成果及び課題 ④ 消費を促す場所と仕組みをつくる必要がある。

お金を使いたくても使う場所がないとの感想が多く参加者から寄せられ、お土産を購入する施設、購入の仕組みづくりは喫緊の課題と指摘された。食材が一流であっても、購入して帰ることのできる物販施設がない、あっても目立たない、または地元向けであるため、人流が発生しても消費活動が起こりづらく、お金を使わない観光客を生んでいる。経済なき観光は、生活者にとって静かな日常の阻害要因でしかないため、「道の駅」のような拠点施設が既存施設を活用した販売の強化を早急に改善させたい。

玄海町内だけでなく、道の駅桃山天下市などの役割強化によって、観光の基点となる場所をすることで、広域の行動パターンに広がりを持たせるようなこともできるのではないかと。

成果及び課題 ⑤ まずは個人旅行を中心とした観光推進が求められる。

団体客の受け入れは、観光バスの利用ができるか否かにより、ハード的要因で受け入れが限定されることがわかった。みかん狩りは、一般的に体験商品の人気メニューであるが、アクセスの問題で団体向けは難しい。また、漁船クルージングは10名定員がネック（漁船の仕様にも課題）となる。また、今回ツアーには含めていないが、船で行く人気の個店「魚山人」や「レストランテ松島」などは、キャパシティが大きいいため、個人向けまたは少人数の団体向けとなる。つまり可能性を感じる特長的な体験ができる施設ほど、少人数での対応が向いており、団体ではなく個人旅行を経験として積んでいくことが地域の進め方に合っていると考えられる。

成果及び課題 ⑥ 観光宿泊は上場エリア全体で連携した受入体制づくりが必要。

玄海町内においては、観光客向けの宿泊施設のキャパシティ創出が必要だが、短期的な解決は難しいため、呼子の各旅館や鎮西の国民宿舎波戸岬、肥前のいろは島など、既存宿泊施設との連携を強化することが必要。なお、教育旅行としての民泊やアウトドア需要の受け皿としての波戸岬・いろは島等の各キャンプ場、漁家体験など地元交流としての要太郎など、先鋭化されたニーズに対しては、キャパシティは小さくとも個性を活かした宿泊を提案していく。上場エリアとして宿泊施設の地産地消強化など、農漁業と宿泊業の連携を進めることで、エリアの収支を考えた戦略を進めていくことなども考えられる。

成果及び課題 ⑦ 「恋人の聖地」の新たな解釈として、交流を育む観光に可能性がある。

「恋人の聖地」は全国各地に存在するが、景観を楽しむだけに終わっているところがほとんどである。そのため、「恋人」は「恋愛」だけを表現するものではなく、「人」と「人」の交わりを意味する言葉と考える解釈もある。エリア内には、波戸岬、浜野浦の棚田のふたつの恋人の聖地があり、たとえば、「おてつたび」というボランティアツーリズムに取り組む事業者も出てきていることから、観光を超える人とのつながりを欲する層へのアプローチとして可能性がある。人と人との交流を増やせる地域になれば、交流人口は増え、ここで出会った人々が結婚、移住という新たな展開にも期待できる。

成果及び課題 ⑧ 「旅のテーマ」から、上場エリアの新たなイメージを創造していくことが必要。

玄海町＝原発のイメージが強く、「観光」に向けた場所という印象を強く訴求する必要がある。また、上場エリアの観光テーマを考えていくことで他地域と差別化しやすいコンセプトができる。波戸岬や浜野浦の棚田といった「恋人の聖地」から、人とのつながりを想起させるテーマもよいし、原発のイメージを逆手に利用して、棚田を舞台としたチームラボ等のイルミネーションチームとのコラボ企画や、原発を起点に持続可能な地域づくりをテーマとした「SDGs ツアー」など、旅のテーマづくりをきっかけとして、まちの新しいイメージを創造していくことも考えられる。

参考 読売旅行実施ツアーにおける評価およびその後の展開

令和3年12月11日および13日において、読売旅行による上場4町を対象とした旅行団体ツアーが実施された。その概要および結果について以下に示す。

(1) 実施概要

ツア－名	【佐賀県内から発着】「佐賀支え愛 CP」唐津上場4町をめぐるグルメと幸せの橋めぐり 日帰り
金 額	2名以上参加：1人6,990円 1名参加（相席なし）：1人8,990円
形 態	日帰り、バスツアー（最小催行人員25名）
ルート概要	佐賀着（9：00）－ 鷹島肥前大橋：眺望 － 玄海町パレア：昼食 － 浜野浦棚田：眺望 － 玄海町エネルギーパーク：散策 － 外津大橋：車窓眺望 － 名護屋大橋 － 呼子大橋 － 田島神社：参拝 － 道の駅桃山天下一：買い物 － 佐賀発（17：50）
備 考	参加者全員に「玄海お楽しみ袋」（お土産）プレゼント

(2) ツアーアンケート結果概要

本ツアー旅行者のアンケート結果概要について以下に示す。

総じて広域観光ルートの試行によるモニターツアーの結果同様、食事内容に対する評価は高いものの、買い物をする場所がないといった意見がみられた。

《評価》※各1～5ポイント評価制

観光内容評価 ⇒ 4.0ポイント

食事内容評価 ⇒ 4.7ポイント

《記載コメント》

- 食事とてもおいしく頂きました。
- 買い物する場所がなかった。
- 食事の量が多く、午後からの観光が苦しかった。
- パレアの昼食は大変美味しかった。仲居さんの接客は花丸。
- お昼のお肉が美味しかった。

(3) ツアー造成等に関するその後の展開

広域観光ルート試行および上記実施ツアーをきっかけとして、読売旅行では、令和4年4月以降において、唐津上場地区を中心とした佐賀県内や、上場を巡るツアー実施等を検討・予定している。

読売旅行においては、広域検討会や広域観光ルートの試行などへの参加やモニターツアー組成などに協力してもらっており、旅行会社を巻き込んだ広域観光推進の検討等が、観光商品のPR・造成などにつながりつつある状況である。

5 広域検討会の実施

5-1 広域検討会の実施概要

検討会の実施日時、会場、参加者、協議内容は以下のとおりである。

	実施日時 会場	参加者	協議次第
第1回	令和3年 10月1日 (金) 14:00 ～ 16:00 リモート会議	○ 玄海町（企画商工課）：3名 ○ 唐津市（観光課）：1名 ○ 地域商社：1名 ○ 交流社：1名 ○ 観光協会：1名 ○ 商工会：2名 ○ 大方 優子 氏 ○ 武知 真一 氏 ○ 九州経済産業局：6名 ○ ランドブレイン株式会社：3名 ○ 株式会社読売旅行：1名	1. 開会 2. 参加者紹介（各自、自己紹介） 3. 報告事項（ランドブレイン） 本事項の取組趣旨・実施内容について 4. 協議事項（ランドブレイン） ①令和3年度の活動計画について ②体験コンテンツの整理状況について ③広域観光ルート試行プログラムについて 5. その他 今後の予定・スケジュール 6. 閉会
第2回	令和3年 12月21日 (火) 13:30 ～ 15:30 玄海町 産業会館2階 第2・3研修室	○ 玄海町（企画商工課）：3名 ○ 唐津市（観光課）：1名 ○ 地域商社：1名 ○ 交流社：1名 ○ 観光協会：1名 ○ 商工会：1名 ○ 九州電力：1名 ○ 大方 優子 氏 ○ 武知 真一 氏 ○ 九州経済産業局：2名 ○ ランドブレイン株式会社：3名 ○ 株式会社読売旅行：1名	1. 開会 2. 報告事項 ①関連事業の進捗状況等について （玄海町・唐津市） ②広域観光ルート試行の結果について 3. 協議事項 ①広域観光プログラムの方向性等について ②共創会議プログラムについて 4. その他 今後の予定・スケジュール 5. 閉会

	実施日時 会場	参加者	協議次第
第 3 回	令和 4 年 1 月 17 日 (月) 16 : 00 ～ 17 : 15 玄海町役場 3 階 第 5 会議室	○ 玄海町（企画商工課）：3 名 ○ 地域商社：5 名 ○ 九州経済産業局：1 名 ○ ランドブレイン株式会社：2 名 ※地域商社との意見交換会	1. 開会 2. 報告事項 ①令和 2・3 年度事業で取り組んできたこと ②体験コンテンツの整理状況 3. 協議事項 ①旧 4 町での観光事業において地域商社に期待すること ②旧 4 町と地域商社の関わりについて 4. 閉会
第 4 回	令和 4 年 2 月 10 日 (木) 13 : 30 ～ 15 : 30 リモート会議	○ 玄海町（企画商工課）：2 名 ○ 唐津市（観光課）：1 名 ○ 地域商社：1 名 ○ 交流社：1 名 ○ 観光協会：1 名 ○ 商工会：1 名 ○ 大方 優子 氏 ○ 武知 真一 氏 ○ 九州経済産業局：3 名 ○ ランドブレイン株式会社：3 名	1. 開会 2. 報告事項 ①活動状況などの振り返り ②関連事業の進捗状況等について（玄海町・唐津市） ③第 3 回検討会（意見交換会）の実施報告について 3. 協議事項：活動方針について ①共創会議等の推進について（参加メリットなど） ②実施事業及び取組主体等について ③広域観光ルートにおけるセールスツールについて 4. その他 広域観光推進に向けた今後についての意見交換等 5. 閉会

5-2 広域検討会における主な協議・意見内容

検討会における意見・協議のうち、広域観光の方向性、令和4年度以降の広域観光の推進体制や取り組むべき具体事業に関する意見に絞り、以下に示す。

【第1回広域検討会】主な協議結果・意見内容

■広域観光の方向性

- 本広域観光エリアは、気軽に訪れることができる「第二の場所」として高いポテンシャルが高い。グルメや趣味など継続的に楽しめるコンテンツの選別と同時に、「第二の場所」としての魅力を活かして、どのように地域（人）と観光客とのつながりをつくるかを考えることが、広域観光における滞在時間や消費、リピートにつながると考える。
- 現在教育旅行は、小口化するなど、コロナ化において見直されつつある。玄海町のテーマとして、エネルギー関係とマリンスーリズムを合わせた教育を絡める旅行は可能性が大きいと考える。
- 新しい観光要素と地域性との掛け合わせによるコンテンツ造成も可能性がある（ワーケーション、リモートワーク、ボランティア活動との掛け合わせなど）

■令和4年度以降の推進体制・取り組むべき具体事業

- 観光・体験の実施においては、観光客と触れ合うポイント（タッチポイント）で、おもてなしにより、感動を生むことが必要。おもてなし力は継続して磨いていくことが重要
- 直売所、加工所はライブ感の工夫が必要。そこでしかできないことを考えるだけで磨かれる。
- 「誰がどういう情報収集をしていて、どのような情報を欲しているのか」を考え、必要なツール等を今後検討していくことも重要

【第2回広域検討会】主な協議結果・意見内容

■広域観光の方向性

- 教育旅行は、今のうちに種まきをしておくことが重要。今すぐ情報発信しても、効果が見えるのは2年後くらいだと見込まれる。
- ボランツリズム的観光は、ニーズは高いと思うが、事業者が旅行者を受け入れる体制づくりに課題がある。体験を通じて、SNS等でPRしてもらうことや、地域との関係づくりを進める手段として捉え、できるところから徐々に進めていくことが良い。福岡都市圏の学生を対象としてモデル的に実施してみることも良い。
- 上場のハンバーグを食べ比べる個人旅行向けルートは、ミニバーガーのようなものをつくり、食べ比べできるようにするなど、巡る楽しみをつくることができると良い。

■令和4年度以降の推進体制・取り組むべき具体事業

■情報発信方法・戦略

- 観光の情報収集方法は世代によって異なる。ターゲットにあわせて媒体を使い分けることが大事。また、情報発信方法も多様化しており、客が客を呼ぶ状況をいかに情報戦略でつくるかは重要。
- 上場エリアに共通した観光パンフレットもない。多様な組織がそれぞれでPR資料を発行している状況。1つにまとめたものがあると良い

■事業者向け研修の実施

- 事業者同士でのおもてなし講座の実施など、事業者が自主的におもてなしの実践に取り組む体制づくりを構築することが重要

■受入環境整備

- エリア内のトイレ環境（洋式化など）は学生の体験受入も含め、影響がある。推進が必要。

【第3回広域検討会】主な協議結果・意見内容

■令和4年度以降の推進体制・取り組むべき具体事業

■推進体制

- 共創会議だけでなく事業の推進にあたって、唐津市内（呼子・鎮西・肥前地区）の事業者をどのように巻き込んでいくのか、わかりやすい参画のメリットづくりが課題。
- 広域連携を進めていく際の旗振り役として、地域商社への期待を感じるが、現体制で今年度進めてみて、町内のことで精一杯の状況もある。広域観光を担う人材の確保や他団体との連携などを考えて役割を果たしていきたい。
- やる気のある事業者を育てていくことが大事。商工会青年部との連携なども考えられる。

■取り組むべき具体事業

- 浜野浦の棚田の活用として、空きスペースを活用したカフェや棚田米の販売などができないか考えたい。
- 玄海町の一流の食材を、呼子の旅館や飲食店に卸すなど、上場4町での地産地消の推進も検討していきたい。

【第4回広域検討会】主な協議結果・意見内容

■広域観光の方向性

- 広域観光は、広域をどのように捉えるかがポイントで、ディスティネーションとして一つのまとまりで情報発信していくことが大切である。この広域エリアのネーミングやブランディング・コンセプトを考えていくことが重要

■令和4年度以降の推進体制・取り組むべき具体事業

■推進体制

- 地域商社頼みでなく、「事業者主体」で旅行商品を造成する流れをつくることが重要。事業者がお客さんとして会議や事業に参加するのではなく、主体的に参加してもらえるようにする必要がある。
- 事業者も旅行会社へのPRツール（セールスツール）に関わることができる仕組みが必要。

■取り組むべき具体事業

- 旅行会社が町を好きになるかということもポイント。「営業のタッチポイント」も増やしていくべきであり、旅行会社に事業者の悩みを共有しておくことも大切。
- 効果的に情報発信を進めるためには、まず事業者自身がメディアになり、自身の発信力を高めていくことが重要である。そのため研修を重ねながら、顧客に発信していくことが重要
- 情報発信でいえば、デジタルツールは無視できないツール。デジタルツールをどのように活用していくかは来年度以降、検討していくべき。
- Wi-Fiの環境整備も今後重要になる。特に呼子は光通信が整備されていないため、今後進めてほしい
- SNSの写真講座等も含め、研修会があるとよい

6 広域観光圏の観光関連事業者が集う共創会議の開催

6-1 共創会議の企画

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での会議は中止。今後の共創会議実施に向けて企画や参加メリット等の周知を行った。

目的	○ 広域観光圏の基本エリアの観光等事業者を中心に、参加者同士のコラボレーション事業を創出するための観光等事業者や専門家、コーディネーターを交えた勉強会やアイデアワークショップ等を実施し、令和4年度以降の精度の高いプロジェクト組成につなげる。 ○ 事業者同士の交流や学習の場、ひいては事業者の自発的な観光推進につながる連携プラットフォームの場の構築に向けて、本会議のような場を継続的に実施するきっかけを組成する。
参加者	○ 旧上場4町の観光施設・宿泊施設・飲食店・直売所等の物販施設などの事業者 ※玄海町や地域商社、交流社、商工会、読売旅行等から事業者へ呼びかけを実施 ○ 各種団体（地域商社、交流社、観光協会、商工会） ○ 玄海町（企画商工課） ○ 唐津市（観光課） ○ 大方 優子 教授【アドバイザー】 ○ 武知 真一 氏【アドバイザー】 ○ 天野 英樹 氏【ファシリテーター】 ○ 九州経済産業局 ○ ランドブレイン株式会社（堀口ほか、社員）【コーディネーター】 ○ 株式会社読売旅行
実施日 会場	令和3年1月17日（月） 玄海町役場 4階会議室 【第1部】 14:00～17:00 【第2部】 16:15～17:00
プログラム 【第1部】	①開会あいさつ、共創会議の趣旨・実施内容、参加者等の紹介 本事業の趣旨のほか、参加団体等について説明等を行う ②昨年度・今年度事業の結果共有 昨年度におけるロードマップ（活動計画）や、体験コンテンツリストなど本事業の成果を共有し、後の意見交換などにつなげる。 ③話題提供 ■テーマ：「広域連携の意味と意義／観光行動（回遊性）の捉え方～人はどうやって旅先を選ぶのか、ターゲットを設定の曖昧さ～」 天野氏より、広域連携の意義（広域連携に取り組む意味）について事例を交えて問いかけた後に、対話形式で参加者自身の観光行動の振り返り（本エリア外への観光・対外目線）を行う。大方氏や武知氏、会場参加者に発言いただく等、参加型での実施を想定。 ④意見交換 導入で議論した「参加者自身の観光行動」を踏まえ、本エリアにおける「目的地」や「ターゲット」、「観光行動（プログラム）」等についてグループごとにワークシートに記入する。 ⑤とりまとめ まとめたワークシートに関して、「共創プロジェクト」につながるように、連携できる／連携が必要な部分や連携人材等の摘み取り（ハーベスト）を行うことで、コラボ事業の創出推進を行う。

プログラム 【第2部】	○参加者交流会・名刺交換 意見交換やとりまとめの結果を会場に貼りだし、それを中心に交流会を実施。単なる交流ではなく、玄海町を含む広域観光圏における具体的なコラボ事業につながる場づくりに向けた工夫を行う。 また上場エリアの特産品や商品等を用意し、よりエリア内での取り組み等について知ってもらうことのできる工夫を行う。
------------------------	--

■共創会議募集チラシ

本事業は、「九州経済産業局」が実施する事業です。

令和3年度原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業
(周辺地域と連携した広域観光ルートの開発による観光流動の活性化に係る調査事業)

広域観光圏の観光関連事業者 が集う 共創会議

vol.1
2022.1

を開催させていただきます

広域観光圏の基本エリアの観光等事業者がオープンに語り合う「オールげんかいミーティング」の参加者を中心に、**参加者同士のコラボレーション事業を創出**するための観光等事業者や専門家、コーディネーターを交えた**勉強会やアイデアワークショップ等を実施し、精度の高いプロジェクト組成につなげる場**として「共創会議」を開催します。

開催日時
1月17日(月)
14:00~17:00 (13:30 受付開始)

開催場所
玄海海上温泉パレ
研修室 A・B (レストラン棟)

参加対象者
上場地域の宿泊、飲食、交通等の事業者・団体 (観光関連事業者・団体)

Meeting Topic (当日のプログラム)

第1部 (14:00~16:00)	第2部 (16:15~17:00)
●話題提供 【テーマ】 広域連携の意味と意義／観光行動 (回遊性) の捉え方 ～人はどうやって旅先を選ぶのか、ターゲットを設定の曖昧さ～ について	●交流会 (名刺交換会) 【内容】 上場エリアの特産物や商品等の軽食やお茶等を提供し、参加者交流・名刺交換を行っていただき、今後の広域観光のきっかけづくりを行います
●意見交換 (ワークショップ) 【内容】 参加者自身の観光行動を踏まえ、本エリアにおける「目的地」や「ターゲット」、「観光行動 (プログラム)」等について意見交換を行います	

※話題提供と意見交換は、区切らず一連の流れで行います。休憩時間は交流会前に設ける予定ですが、適宜休憩いただけます。
※ご都合に応じて、第1部のみの参加、第2部からの参加もできますので、参加申込みの際にお知らせください。

お申込み先・お問い合わせ先

「共創会議」に関するお問い合わせは、以下のメールか電話よりお申し込みください。
【申込内容】 氏名・所属・住所・電話番号・メールアドレス、参加人数、参加するセッション (第1部・第2部)

ランドブレイン株式会社 (担当: 喜多 (きた))
Tel : 080-9404-6648 (直通)
Mail : kita@landbrains.co.jp

申込 1月12日(水)

講師等プロフィール

大方 優子 氏 (アドバイザー) 九州産業大学地域共創学部観光学科教授 観光学を専門とし、観光者の行動・心理、観光産業のマーケティング研究を行っている。福岡県観光審議会委員を務めた経験や、観光分野の専門家として福岡県内を中心に多くの自治体で審議会委員を務める。	武知 真一 氏 (講師) 日本航空 地域事業本部 地域活性化プロデューサー 国内営業部次長、北九州支店長、山口支店長を経て、2018年より現職。日本航空ではパースティクルを発売するなど、観光運輸業の課題である季節格差の平準化を楽しく解決するアイデアで新たな商品づくり等を行っている。	天野 英樹 氏 (ファシリテーター) (株)イーアス 代表取締役 広告会社にてマーケティング及びブランニングに従事。JTB コミュニケーションズ九州在籍時から観光振興や地域振興、ツアー開発等に携わり、2012年(株)イーアス設立。現在も観光振興やツアー開発等に注力している。
---	--	--

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、受付時の検温・アルコール消毒、室内の定期的な換気等を行います。

ご提供いただいた個人情報は、事務局 (九州経済産業局、ランドブレイン株式会社 (本事業の委託業者)) が本事業 (令和3年度原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業 (周辺地域と連携した広域観光ルートの開発による観光流動の活性化に係る調査事業)) においてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局以外の第三者に開示、提供することはありません。

■当日の投影資料イメージ（一部抜粋）

**広域観光圏の
観光関連事業者が
集う共創会議**

日にち：2022年1月17日（月）
時 間：1部 14:00～16:00
2部 16:15～17:00
場 所：玄海海上温泉 パレア・研修室

共創会議の目的

- ① 気づきにつながる場
- ② 気づきから実践につながる場
- ③ 事業者コラボレーションにつながる場

アイデアとアイデアが会い
新しい価値を生む場

本日の会議のゴール

新たな気づきと新たな関係が構築される
話す×きく＝新しいアイデアが生まれる

最近、行った日帰り旅や宿泊旅行について教えてください。
コロナ禍で行っていない方は、コロナ前までさかのぼってください。

- ・ まずは日帰りか宿泊かをわかるようにしてください。日帰りの場合は何時に出発して何時に帰宅したか。
- ・ 宿泊（どこに泊まったか）の場合も何時に家を出発して、何時にチェックインして、何時にチェックアウトして、何時に帰宅したか。

↓

日帰り・宿泊	どこに行きましたか 行ったスポット全て 行った順に	誰と行きましたか 年齢や詳細も	いくら使いましたか その内訳も	その旅の目的はなん でしたか
--------	---------------------------------	--------------------	--------------------	-------------------

↓

なぜ、そのスポットに行こうと思ったのか、そのスポットをどうやって知ったのかは書かなくてもいいので考えてみてください

↓

行こうと思った理由です。簡単に考えてください。

例

日帰り・宿泊	どこに行きましたか 行ったスポット全て 行った順に	誰と行きましたか 年齢や詳細も	いくら使いましたか その内訳も	その旅の目的はなん でしたか
2泊3日 6時に自家用車で 出発。 1日目17時チェック イン。（ア-バンホテル松江） 2日目8時チェック アウト。 2日目18時チェック イン。（お宿よしの や） 3日目9時30分 チェックアウト。	どじょう亭で昼食 足立美術館 館内で抹茶 松江城 チェックイン 出雲そば夕食 出雲大社 参道で出雲そば昼食 古代出雲歴史博物館 チェックイン 津和野散策と森鴎外 記念館 金子みすゞ記念館 センザンゲン昼食 角島 帰宅	家族 私46歳 妻45歳 長女17歳 長男15歳	8,000円どじょう亭 6,300円足立美術館 4,000円抹茶 2,080円松江城 20,000円ホテル 4,000円夕食 5,000円昼食 1,640円博物館 60,000円旅館 2,000円森鴎外 1,000円金子みすゞ 3,000円昼食 50,000円その他 167,020円合計	連都後の出雲大社網 でに行くことが目的。 出雲大社を決めて、 足立美術館、松江城 は事前にリサーチ。 古代出雲歴史博物館 の存在は知らなかった が、たまたま看板があっ たので立ち寄った。 福岡に戻る途中で1泊 するために津和野をブラ ス。 その他は、その時の思 い付きでスマホ検索で 行き先を決定。

対話のための問い【話題提供】

私たちは何のために広域連携をするのでしょうか？

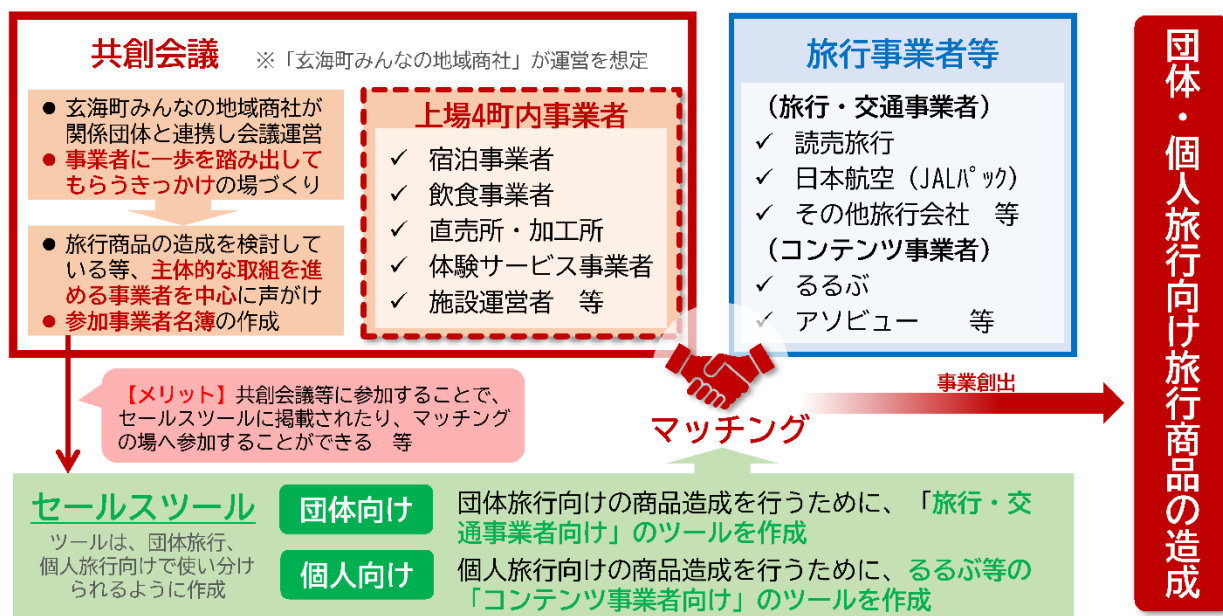
6-2 共創会議の推進体制の検討

共創会議は、広域観光圏の基本エリアである上場4町における観光等事業者が行政界にとらわれずコラボレーションを誘発する連携プラットフォームとしての開催を想定しているが、**まずは観光等事業者が共創会議に参加するメリット等を感じてもらうことが重要**である。

共創会議の出口戦略を「団体・個人旅行向け旅行商品の造成を上場4町内の宿泊、飲食等の事業者と旅行事業者等のマッチングを通じて行っていくこと」と想定すると、マッチングに必要となる「セールスツール（7-4 参照）」のとりまとめと「マッチングの場」づくりが共創会議の役割であり、**旅行事業者等へ事業者の商品やコンテンツがPRされていくことが参加するメリットになりうるものと想定**する。

セールスツールは、共創会議の参加事業者名簿を基に、旅行事業者（個人・団体）に向けて営業できる資料としてとりまとめる。その資料を活用し、共創会議で上場4町事業者と旅行事業者等がマッチングできる場を提供できるよう、玄海町みんなの地域商社等の民間の中間支援組織が旗振り役となり、企画・運営していくことが望ましい。

■共創会議の役割と事業者等のメリットのイメージ



6-3 共創会議の実施意義等の周知

共創会議については、募集チラシ等の配布や事業者への周知などにより、観光関係団体含め 10 事業者の参加が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面での会議を延期とした。また、その後もまん延防止措置等の発令等を踏まえ、対面での会議を中止とすることとなった。

これらも踏まえ、共創会議に参加を予定していた各事業者に対しては、広域検討会に参加している各種団体を通じて募集チラシや企画資料などの共有・周知を行うことなどにより、**事業者にその実施意義やメリット、企画内容等を周知する**など、**令和4年度以降の共創会議実施等の推進にもつなげるよう資料等の活用を行った。**

7 広域観光の方向性および令和4年度以降の活動方針

体験コンテンツの掘り起こしや、広域観光ルートの試行・検証結果、広域検討会の意見等を踏まえて、以下から広域観光の方向性および推進体制・具体事業計画について、整理する。

7-1 広域観光の方向性

(1) 『教育旅行』型モデルルート

※①広域検討会からの意見 ②広域観光ルート試行による成果及び課題

【得られた主な意見・課題等】

- ① 玄海町のテーマとして、エネルギー関係とマリンツーリズムを合わせた**教育を絡める旅行**は可能性が大きい
- ① **新しい観光要素と地域性**との掛け合わせによるコンテンツ造成も可能性がある
- ① 教育旅行は、**今のうちに種まきをしておく**ことが重要。今すぐ情報発信しても、効果が見えるのは2年後くらいだと見込まれる。
- ② 「旅のテーマ」から、**上場エリアの新たなイメージを創造**していくことが必要。(原発を起点に持続可能な地域づくりをテーマとした「SDGs ツアー」など)



ターゲット 学校・子ども向け（教育旅行など）

上場4町から学び、考える 『SDGs』スタディルート

【ルートの概要・コンセプト】

原子力発電施設や、次世代のエネルギーについて学ぶ場である、「玄海町次世代エネルギーパークあすぴあ」の立地、豊かな自然環境や食資源・文化を有する広域観光エリアの特徴を踏まえ、本エリアから、エネルギーや自然環境、地域の産業・食の面からSDGsを学んでもらい、次世代の子ども達に自分たちに何ができるかを考えてもらうスタディーコースを提供する。

【ルートのイメージ】



【ルートの特徴・推進の方向性】

- 「あすぴあ」を学びの場として拠点利用する。
- 体験だけでなく、SDGsに関する「事前学習」と「振り返り」をあすぴあで実施することで、SDGsの視点から体験を楽しみ、気づきをもってもらうようにする。
- 体験内容に沿った「学習シート」などを作成・配布するなど、各プログラムでどのような学びがあったか、気づきを記載してもらえようにする。
- SDGsの目標テーマごとにルートを設定・検討するなどにより、団体の分散や、コースの多様化なども見込める。

- エネルギーに関する学びの場の提供や、SDGsの取組推進により、エリア(玄海町、唐津市)自体のイメージアップにつなげる。
- 上場エリアとしては、施設の団体受入や交通環境の面なども含めて、すぐに推進していくことは難しいため、長期間かけてルートの推進方策等を検討・試行し、実施していく方向性が望ましい。

(2) 『交流・ファン構築』型モデルルート

※①広域検討会からの意見 ②広域観光ルート試行による成果及び課題

【得られた主な意見・課題等】

- ①「第二の場所」としてのポテンシャルが高い。どのように地域(人)と観光客とのつながりをつくるかを考えることが、広域観光における滞在時間や消費、リピートにつながると考える。
- ① 新しい観光要素と地域性との掛け合わせによるコンテンツ造成も可能性がある(ボランツリズムなど)
- ① ボランツリズム的観光は、事業者が旅行者を受け入れる体制づくりに課題がある。体験を通じて、SNS等でPRしてもらうことや、地域との関係づくりを進める手段として捉え、できるところから徐々に進めていくことが良い。
- ② 「恋人の聖地」の新たな解釈として、交流を育む観光に可能性がある。



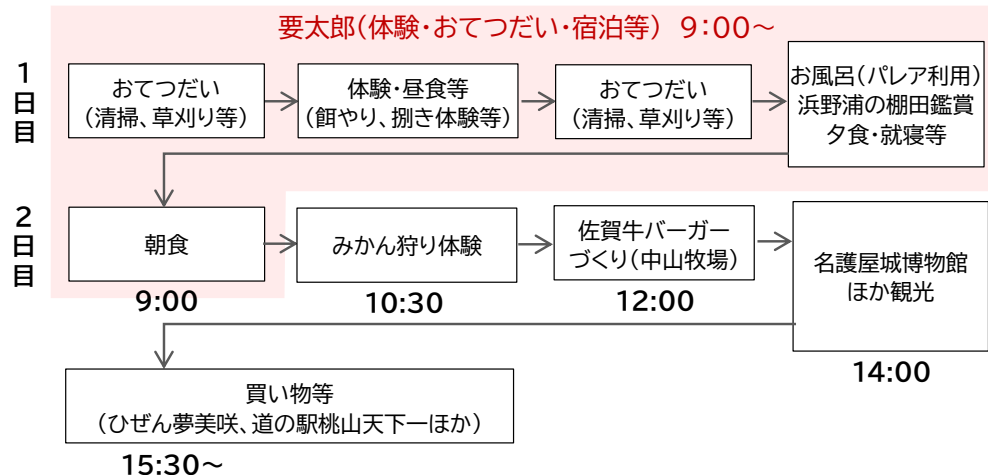
ターゲット ファン・リピーター(構築)向け

「第二の故郷」をつくろう！ボランツリズムルート

【ルートの概要・コンセプト】

豊かな自然や食資源、美しい景観を有する本エリアについて、地域の人々との交流やボランティア(お手伝い)を通じて、その生活や地域の暮らしを感じる、また歴史文化について知ってもらうことで、「第二の故郷」として本エリアを親しんでもらうための観光ルートを提供する。

【ルートのイメージ】



【ルートの特徴・推進の方向性】

- 「要太郎」ほか、「中山牧場」など、お手伝いの受入と体験提供が可能な事業者などを中心にプログラムを組成(要太郎、中山牧場は、ボランティアを受け入れる「おてつだび」の実施実績あり)
- そのほか、みかん狩り等をはじめ、地域の農家などと交流できるプログラムを積極的に取り入れたい。
- 中長期的な視点を持ち、これから、本エリアを継続的にリピートしてもらえる「ファン」の増加や、これに伴い、ふるさと納税、産品購入等につなげるなど、「関係人口の構築」を主目的にする。
- 地域との関係づくりを進める手段として捉え、受入が可能な事業者等の発掘とあわせて、モデル的に試行をしながら進めることが望ましい。

(3) 『個人旅行』型モデルルート

※①広域検討会からの意見 ②広域観光ルート試行による成果及び課題

【得られた主な意見・課題等】

- ②食の評価・期待は高いが、食のこだわりなどを伝える工夫やPRが必要
- ②消費を促す場所と仕組みをつくる必要がある。
- ②まずは個人旅行を中心とした観光推進が求められる。



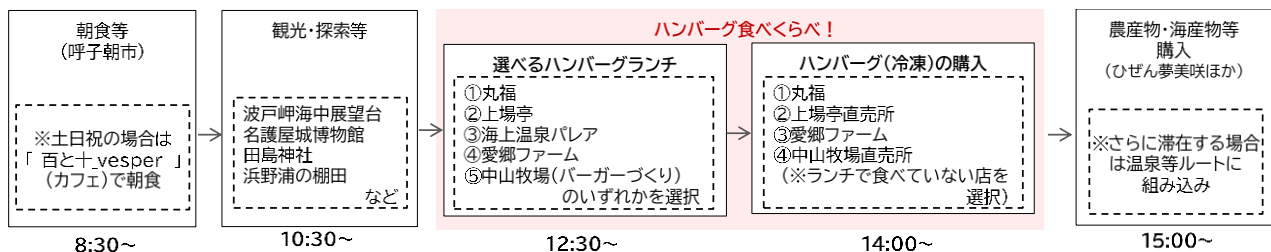
ターゲット 一般（家族連れ）向け

イカだけじゃない！上場のハンバーグを食べくらべ！ルート

【ルートの概要・コンセプト】

豊かな自然や食資源、美しい景観を有する本エリアについて、地域の人々との交流やボランティア（お手伝い）を通じて、その生活や地域の暮らしを感じる、また歴史文化について知ってもらうことで、「第二の故郷」として本エリアを親しんでもらうための観光ルートを提供する。

【ルートのイメージ】



【ルートの特徴・推進の方向性】

- 「佐賀牛」(ハンバーグ)が堪能できるという点をフックに、プログラムを構成。
- ハンバーグランチと冷凍の持ち帰りにより、食べくらべができるようにする。
- ハンバーグはミニハンバーグなどの販売などにより、食べて巡ることができるようにするなど、各事業者との販売商品とも連携していく。
- 持ち帰り等にあわせて保冷バックの販売や、詰め合わせ等のお土産セットの販売なども同時に展開していく。
- 移動はマイカー想定。
- 食資源の中でも特に訴求力の高い、「肉グルメ」に着目。地域での中長期的なファン層の獲得を目指すボランツーリズムルートと異なり、地域での高い観光消費を念頭に置いた、「一人あたりの観光消費額」の向上に貢献する観光プランとして優先的にルート組成に取り組む。

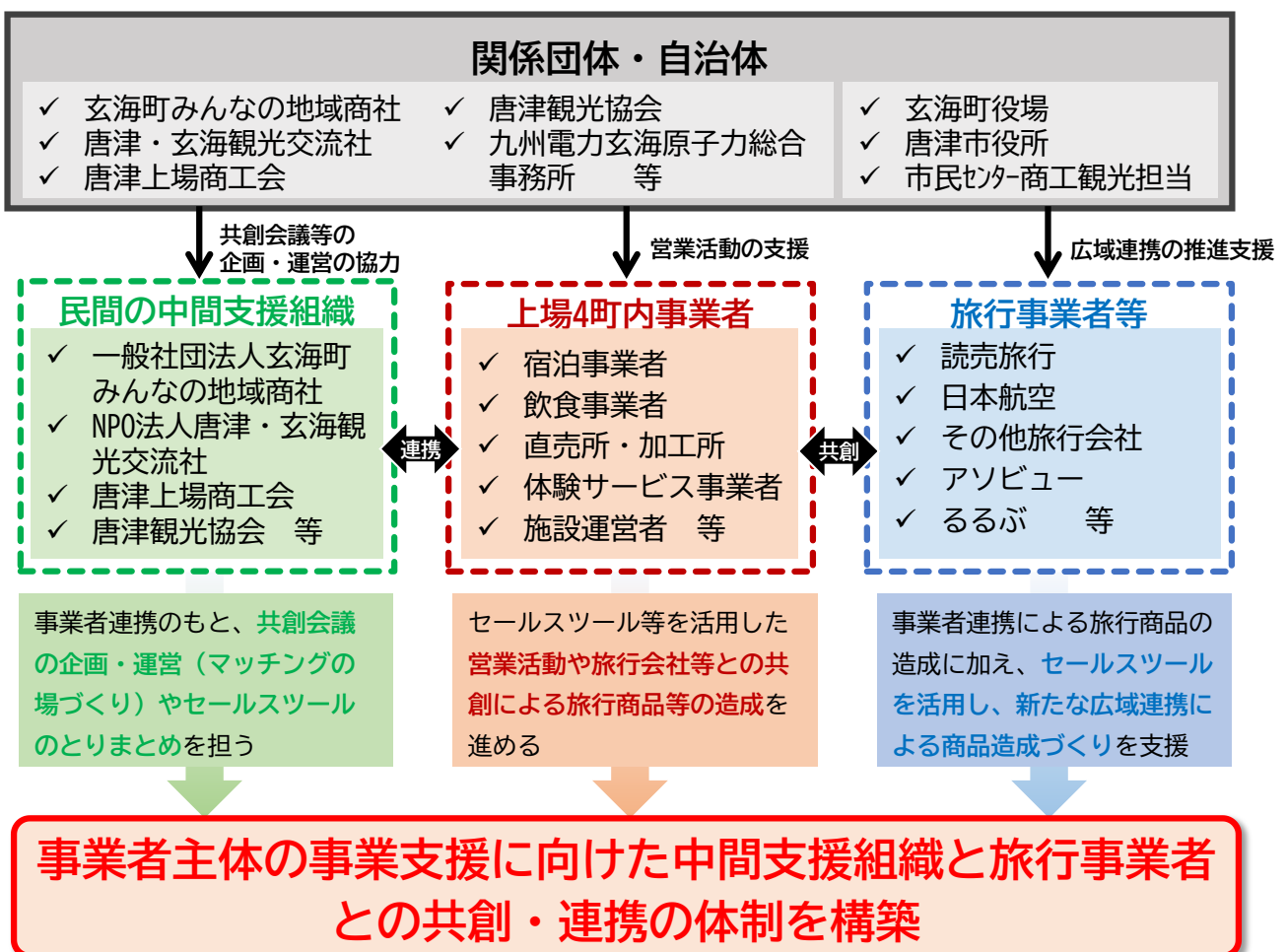
7-2 広域観光の推進体制

推進体制については、上場4町内事業者が主体となった旅行商品の造成等の事業を支援するために民間の中間支援組織や旅行事業者、関係団体・自治体との共創・連携の体制を共創会議や関係者会議（広域検討会等）を通じて構築する。

広域観光や事業者の事業支援を推進するにあたり、民間の中間支援組織は、上場4町内事業者と旅行事業者等とのマッチングの場として共創会議の企画・運営を行うほか、会議参加者名簿をもとにセールスツールのとりまとめを行う。また、上場4町内事業者は、中間支援組織がとりまとめるセールスツールを活用し、自ら旅行事業者や旅行事業者等とつながる宿泊宿等の個々の事業者、個人旅行者向けの営業活動や旅行事業者等との共創による旅行商品等の造成を進める。旅行事業者等は、事業者共創による旅行商品の造成に加え、セールスツールを活用し、新たな広域連携による商品の企画を行う等、新たなコンテンツ発掘を支援する。

上記のように、上場4町内事業者が主体となり、民間の中間支援組織や旅行事業者等、それを支援する関係団体や自治体が一丸となって広域観光を推進することのできる体制を構築する。

■広域観光の推進体制イメージ



7-3 具体事業計画

(1) 具体事業内容

具体事業においては、令和2年度に作成した活動ロードマップを基に、令和4年度以降の実施内容について広域検討会および広域観光ルート試行による成果及び課題を踏まえて、取組内容を詳細化することで整理を行った。

■活動計画ロードマップ（令和2年度作成）

取組方針	ロードマップ				
	取組年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度以降
	取組主体	玄海町	玄海町・唐津市	民間事業者メイン・行政サポート	
方針① 広域観光圏として 来訪・周遊を促す仕掛けづくり 【ルート構築】	観光動態の把握・検証 現状整理	✓統計データ分析 ✓来訪者および事業者の意向把握 ✓観光課題の把握	✓広域エリアでの有償化できる体験コンテンツの発掘とリスト整理	-	✓来訪者動態調査によるモデルルート周知後の動態把握（事業成果の把握）
	広域観光ルートの整理・構築	✓関係事業者による観光ルートの検討（勉強会） ✓大学生ワークショップの実施	✓モニターツアー等による広域観光ルートの試行・検証 ✓課題を踏まえたルートのブラッシュアップ	✓基本対象エリアの広域観光モデルルートの設定（3ルート） ✓連携対象エリアを含む新たな広域観光ルートの検討	✓連携対象エリアを含む広域観光ルートの設定（3ルート）
方針② 広域観光圏の魅力を体感できるコンテンツや商品造成 【商品造成】	広域観光のコンセプトに合致した商品造成	✓広域観光のコンセプト・ターゲット等の設定	✓広域観光ルート・体験コンテンツを販売するための具体的方策の検討	✓体験コンテンツの有償販売の仕組みづくり ✓広域観光ルートのツアーパッケージ採用に向けた営業活動	✓体験コンテンツの常時提供 ✓ツアーパッケージの販売・運用
方針③ 広域観光圏の魅力を伝える取組づくり 【観光PR】	観光ルートをPR・推進する取組の推進	-	✓広域観光情報の発信や広域観光推進体制の検討	✓広域観光情報の発信・推進体制の確立 ✓PR方策等の検討	✓観光雑誌等の掲載 ✓HPや各種メディアでのルートの発信・周知活動
	各市町の魅力をPRする取組の推進	-	✓各自治体の既存コンテンツPR方法の情報交換・方向性検討	✓方向性に基づくPRの推進・実施	✓方向性に基づくPRの効果検証
方針④ 広域観光や連携を推進する体制構築 【体制整備】	市町同士の連携体制構築	-	✓玄海町・唐津市の官民関係者を集めた検討の場の設置	✓広域観光モデルルートに関する推進施策や推進・支援方策等の検討	✓広域観光モデルルートに関する推進・支援施策等の実施
	観光事業者同士が連携できる場の構築	✓町内関係事業者による意見交換会の実施	✓玄海町・唐津市内等の事業者による連携会議の実施 （広域観光に関わる人材や資源の掘起こし、意見交換等）	✓（仮称）うわば観光共創会議の立ち上げと定期開催 ✓共創プロジェクト（地域間連携事業）のアイデアプレスト	✓（仮称）うわば観光共創会議の継続 ✓共創プロジェクト第1弾試行事業の実践

上記緑枠について取組詳細化

※①広域検討会からの意見 ②広域観光ルート試行による意見・成果及び課題

活動ロードマップ				検討会およびモニターツアーの意見	令和４年度以降に実施すべき取組（具体事業） ＜たたき案＞
取組方針		令和４年度の方針	令和５年度以降の方針		
■方針１ 広域観光圏として来訪・周遊を促す仕掛けづくり 【ルート構築】	1-1 観光動態の把握・検証、現状整理	—	✓来訪者動態調査によるモデル ルート周知後の動態把握（事業 成果の把握）	—	1-1-1 来訪者動態調査等による効果検証
	1-2 広域観光ルートの整理・構築	✓基本対象エリアの広域観光モデ ルルートの設定（３ルート） ✓連携対象エリアを含む新たな広 域観光ルートの検討	✓連携対象エリアを含む広域観光 ルートの設定（３ルート）	—	1-2-1 広域観光ルートのブラッシュアップ・内容充実
■方針２ 広域観光圏の魅力を体 感できるコンテンツや商 品造成 【商品造成】	2-1 広域観光のコンセプトに合致した 商品造成	✓体験コンテンツの有償販売の仕 組みづくり ✓広域観光ルートのツアーパッケー ージ採用に向けた営業活動	✓体験コンテンツの常時提供 ✓ツアーパッケージの販売・運用	②浜野浦の棚田は記憶に残る体験が欲しい。また鍵 の自販機などがあると便利。 ②お金を使う場所がほとんどない。お土産などが買 えると良い。 ①直売所、加工所はライブ感の工夫、そこでしかでき ないことを考えるだけで磨かれると思う。	2-1-1 広域観光ルートの販売および運用 ↓ 2-2-1 「浜野浦の棚田」の活用プログラムの検討 2-2-3 ツアーと一体化した「お土産セット」の開発 2-2-4 各店舗・施設の魅力向上に向けた検討・支援
■方針３ 広域観光圏の魅力を伝え る取組づくり 【観光PR】	3-1 観光ルートをPR・推進する取組 の推進	✓広域観光情報の発信・推進体制 の確立 ✓PR 方策等の検討	✓観光雑誌等の掲載 ✓HP や各種メディアでのルート の発信・周知活動	②観光の核、顔となる目的地・拠点や、「まずはここに 行く」といった起点となる場所・施設があると良い	3-1-1 広域観光ルートにおけるメディア等への発信 3-1-2 広域観光PR 資料・ツールなどの作成 3-1-3 広域観光の起点・拠点となる施設の設定・創出
	3-2 各市町の魅力をPR する取組の 推進	✓方向性に基づくPR の推進・実 施	✓方向性に基づくPR の効果検 証	②食は充実しているが、「ここでしか食べられない」 といったPR が不足している。	3-2-1 既存施設・店舗などのPR 推進 3-2-2 エリアの食資源の一体PR やブランド化推進
■方針４ 広域観光や連携を推進す る体制構築 【体制整備】	4-1 市町同士の連携体制構築	✓広域観光モデルルートに関する 推進施策や推進・支援方策等の 検討	✓広域観光モデルルートに関する 推進・支援施策等の実施	—	4-1-1 広域観光推進に向けた市同士の情報交換 推進支援策検討
	4-2 観光事業者同士が連携できる場 の構築	✓（仮称）うわば観光共創会議の 立ち上げと定期開催 ✓共創プロジェクト（地域間連携 事業）のアイデアブレスト	✓（仮称）うわば観光共創会議の 継続 ✓共創プロジェクト第１弾試行事 業の実践	①観光客と事業者が触れ合う「タッチポイント」にお いて、「おもてなし力」がツアーの感動を生む重要 な要素になる。	4-2-1 事業者との情報共有・交換の定期開催 4-2-2 共創会議によるコンテンツ組成等の推進 4-2-3 観光推進に向けた事業者向け研修等の実施
—	—	—	—	②観光バスなど団体受入に向けては、道路の広さや 駐車場確保の面で課題がある。	5-1-1 受入環境施設・設備等の整備検討

※緑字は広域検討会や広域観光ルート試行等により得られた意見等を踏まえて位置づけた事業

(2) 具体事業の概要および推進方策

整理した具体事業において、実施概要、実施主体および実施工程を定めた推進方策を以下に示す。

※地域商社:一般社団法人玄海町みんなの地域商社 / 交流社:NPO 法人唐津・玄海観光交流社 / 観光協会:一般社団法人唐津観光協会 / 商工会:唐津上場商工会

活動計画(ロードマップ)		具体事業(取組)	事業概要	実施主体 (想定)	実施工程		
取組方針					R4	R5	R6
■方針 1 広域観光圏として 来訪・周遊を促す 仕掛けづくり 【ルート構築】	1-1 観光動態の把握・検証、 現状整理	1-1-1 来訪者動態調査等による効果検証	①来訪者動態調査の実施・分析(令和2年度と同様の調査による比較及び効果検証) ※調査の実施主体として地域商社との連携や活用による調査等も考えられる	玄海町 唐津市			①
	1-2 広域観光ルートの整理・構築	1-2-1 広域観光ルートのブラッシュアップ・内容充実	①広域観光ルートの確定・準備調整等(個人向け等) ②広域観光ルートの運用(随時ブラッシュアップ) ③新たな広域観光ルートの検討・確定(教育旅行やリピーター獲得に向けたもの等) ※教育旅行分野は交流社と地域商社連携 ④来訪者動態調査等に基づく広域観光ルートのブラッシュアップ、新ルートの整理	地域商社 (個人向け旅行ほか) 交流社 (教育旅行等) 【事業者】 地域商社等と調整し、体験商品等の提供や、ルート等にあわせた商品造成等を実施	①	②	④
■方針 2 広域観光圏の魅力 を体感できるコンテ ンツや商品造成 【商品造成】	2-1 広域観光のコンセプト に合致した商品造成	2-1-1 広域観光ルートの販売および運用	①広域観光ルートの誘客手法の整理(団体旅行・個人旅行それぞれ)と試行 ②旅行会社へのセールスツールを活用した営業活動(広域観光ルートを使った団体旅行造成が目的)	地域商社 【事業者】 セールスツール等を活用した旅行関連会社等へのPR活動	①	②	
		2-2-1 「浜野浦の棚田」の活用プログラムの検討	①企画および試行(カフェ、棚田米の販売など) ②試行結果の検証および再試行など ③活用プログラムや活用手法などの方向性決定 ※玄海町地域おこし協力隊との連携により進める	地域商社 玄海町 (地域おこし協力隊ほか)	①	②	③
		2-2-2 ツアーと一体化した「お土産セット」の開発	①広域連携や広域観光ルートの内容と連動した上場エリアをPRできるお土産セットの企画・開発 ※継続して検討していく ②お土産セットの販売(第1弾)	地域商社 【事業者】 地域商社等と連携した、お土産商品の開発実施	①	②	
		2-2-3 各店舗・施設の魅力向上に向けた検討・支援	①共創会議や事業者研修等と連動した店舗支援策などの検討(商品造成や観光サービス等に関する個別アドバイザー支援や、事業者のチャレンジ補助など) ②支援、魅力化向上に向けた方策実施等	商工会、地域商社 玄海町、唐津市 【事業者】 支援策を活用した実践等	①		②
■方針 3 広域観光圏の魅力 を伝える取組づくり 【観光PR】	3-1 観光ルートをPR・推進 する取組の推進	3-1-1 広域観光ルートにおけるメディア等への発信	①各団体の既存メディアへのルート記事掲載、佐賀県観光連盟などを通じた情報発信活動 ②観光情報冊子や観光サイトの制作時などにおけるプレスリリースの積極的活用	観光協会、交流社、 地域商社 【事業者】 事業者自身の情報提供ほか、情報発信活動への参加	①	②	
		3-1-2 広域観光PR資料・ツールなどの作成	①旅行会社向けのセールスツールの作成と、お試し営業によるツールのブラッシュアップ ②個人旅行者向けの観光情報冊子の作成 ③デジタルツールの活用等、情報発信戦略の検討	地域商社 【事業者】 事業者自身の情報提供等	①	②	③

活動計画(ロードマップ)		具体事業(取組)	事業概要	実施主体 (想定)	実施工程		
取組方針					R4	R5	R6
	3-2 各市町の魅力を PR する取組の推進	3-1-3 広域観光の起点・拠点となる施設の設定・創出	①肥前名護屋城など旧各町の観光拠点設定と情報ツールの設置状況調査 ②玄海海上温泉パレアの道の駅化の検討 ③各拠点での観光情報冊子設置など情報発信強化	玄海町、唐津市 地域商社 【事業者】 情報冊子の設置協力等	①	③	
		3-2-1 既存施設・店舗などの PR 推進	①観光情報冊子で掲載する施設・店舗の絞り込み、取材活動 ②観光サイト、SNSなどを活用した継続的な情報発信(取材を踏まえた記事としての情報発信活動) ③飲食店周遊型のドライブキャンペーンの企画実施	地域商社 【事業者】 取材協力や SNS 等を活用した観光の情報やキャンペーン等の発信 PR	①	③	②
		3-2-2 エリアの食資源の一体 PR やブランド化推進	①上場エリアの食資源を PR するイベントへの出店 ②RV パーク利用者等への食材割引フェアの企画 ③宿泊施設や飲食店と、地元産の海産物・農産物・畜産物の取引マッチング活動	地域商社 【事業者】 イベントの出店、フェアの企画参加、地域商社等と連携した特産品のマッチング活動の実施	①	②	③
■方針 4 広域観光や連携を推進する体制構築【体制整備】	4-1 市町同士の連携体制構築	4-1-1 広域観光推進に向けた市町同士の情報交換推進支援策検討	①玄海町、唐津市(旧各町の関連部局含む)との定期的な意見交換の場づくり(広域検討会等の継続)	玄海町 唐津市		①	
	4-2 観光事業者同士が連携できる場の構築	4-2-1 事業者との情報共有・交換の定期開催	①共創会議やオールげんかいミーティングを通じた広域エリア内の事業者との意見交換の実施 ②旅行会社等との定期的な意見交換会の実施	玄海町 地域商社 【事業者】 各種会議への参加および町、商社と連携した企画等		①	②
		4-2-2 共創会議によるコンテンツ組成等の推進	①共創会議等におけるエリア内事業者と旅行会社等とのマッチングの場づくり ②共創会議等の参加事業者のリストと事業者情報の定期的な更新(セールスツールの作成・更新)	地域商社 【事業者】 研修参加および研修・実践したい内容等の企画・検討等		①	②
		4-2-3 観光推進に向けた事業者向け研修等の実施	①研修実施等に係るニーズの把握 ②観光事業者のレベルアップにつなげる「おもてなし講座」や情報発信力の向上に資する研修など、ニーズに沿った研修の実施 ③観光事業者と専門家が伴走するフォローアップ研修の実施(個別訪問等による専門家アドバイス)	地域商社 【事業者】 研修参加および研修・実践したい内容等の企画・検討等	①	②	③
(その他)		5-1-1 受入環境施設・設備等の整備検討	①浜野浦の棚田周辺における駐車場整備 ②浜野浦の棚田の展望台のカフェ化等 ③その他観光施設や環境整備など(道路環境整備、サイン整備、トイレの洋式化、Wi-Fi 環境など)	玄海町 唐津市 地域商社		(計画検討)	① ② ③

令和4年度以降は、「3-1-2 広域観光 PR 資料・ツールなどの作成」にあるように、広域観光ルートを構築した上で、それらを旅行商品として販売・PR していくための、旅行会社等をはじめとした営業活動を推進することが重要となる。このことから、本営業活動に使用するセールスツール（案）を整理した。

表



特に、佐賀牛においては、上場 4 町において、様々な事業者が自慢の商品、加工品を販売しており、これらを味わえる店舗は、本エリアの大きな魅力となっている。

2 ターゲット、想定する観光形態

- ### 3 ルートイメージ・所要時間

- #### 4 主な販売商品(体験メニュー)など

... 田

TEL:000000 MAIL:000000

5 関連施設情報

玄海町海上温泉パレア

写真

玄海町が『地域住民の健康、福祉の増進と地域の活性化を図る』ことを目的に整備し、2004年4月5日に開館した温泉施設。建物の半分以上が海上に建っており、ここからの飯屋湾の眺めは絶景。露天風呂からは海に落ちる美しい夕陽をみることが出来る。令和3年4月から、町内で精肉卸・小売・加工販売を手掛ける「株式会社中山牧場」が指定管理者を務めており、レストラン棟では、中山牧場のハンバーグを味わうことができる。

住所：佐賀県東松浦郡玄海町大字石田1369番地3 お問い合わせ：0955-52-2411
 営業時間：〔入浴〕10:00～22:00 〔食事処〕11:00～22:00
 休館日：毎月第3水曜日、お盆、年末年始

QRコード

中山牧場直売所

写真

佐賀牛、国産黒毛和牛を厳選して直販する中山牧場直営の直売所。レストハウスでは、直売の牛肉でバーベキューや焼肉が楽しめる。

また、中山牧場自慢の黒毛和牛 100%のパテに、地元のパンをサンドしてつくる、「マイバーガーづくり体験」は、子どもや修学旅行生にも人気となっている。

住所：佐賀県東松浦郡玄海町大字普恩寺 912 番地 1 お問い合わせ：0955-52-5051
営業時間：[直売所] 9:00～18:00 [レストハウス] 9:00～22:00
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝祭日の場合は営業）

QR
コード

丸福（玄海店）

写真

昭和 46 年の創業より、佐賀牛の A5 のみにこだわり、仕入れを行う、焼肉やハンバーグなどを提供するお店。

店自慢のハンバーグは、大阪への卸しや、桃山天下一での販売、ふるさと納税の返礼品として、唐津市、玄海町への提供などを行っている。

住所：佐賀県東松浦郡玄海町今村 5046 お問い合わせ：0955-52-6541
営業時間：11:30～13:30 / 17:30～21:30 ラストオーダーPM21:00
休館日：毎週日曜日

QR
コード

愛郷ファーム

写真	米どころ佐賀平野より取り寄せた稲わらと穀類を中心とした安全な専用飼料を自家配合して育てた佐賀牛を販売するお店。 広々とした掘りごたつ式のレストランとともに、直売所も完備しており、買い物だけでも立ち寄ることが可能。唐津市のふるさと納税返礼品としても出品されている。
	住所：佐賀県唐津市鎮西町菖蒲 2221-1 お問い合わせ：0955-82-5481 営業時間：11:30～21:00 ラストオーダー20:00 休館日：毎週火曜日、1/1～1/3

上場亭

唐津の焼き肉店、佐賀・伊万里牛を厳選した部分を独自のたれで提供している。
また、隣接する「上場食肉」では日々の食材から、特上和牛までを特別価格で販売しており、食事だけでなく、ショッピングも楽しめるようになっている。

住所：佐賀県唐津市鎮西町菖蒲 2221-1 お問い合わせ：0955-82-5481
営業時間：11:30～21:00 ラストオーダー 20:00
休館日：毎週火曜日、1/1～1/3

写真

QR
コード

百と十 vesper

写真

呼子町にある 110 年余りの町やをリノベーションした宿とカフェ。Vesper は百と十に併設するカフェ・ダイニングであり、ミネラルたっぷりの土壌で育まれた野菜、佐賀牛など地ものものと、他地域の少しのエッセンスを取り入れた料理を呼子湾の光と波の音、潮風が中庭に抜ける気配を感じながら楽しむことができる。
 また、土日祝日限定で朝食も提供している。

住所：佐賀県唐津市呼子町呼子1960-2 お問い合わせ：0955-82-3287
 営業時間：[朝食] 7:00～10:00(土日祝日のみ) [昼食] 11:00～15:00
 [軽食] 15:00～18:00 [夕食] 18:00～21:00(要予約)
 休館日：火曜日・水曜日



QR
コード

玄海海中展望塔

写真

陸地より 86m の棧橋でつながれた海中展望塔の海上デッキからは玄界灘の島々を見渡すことができ、24個の海中窓がある海中展望塔からは、約30種類の魚が遊泳する様子や、海藻、貝類を自然のままに見ることができる。

波戸岬一帯の海は日本海流と対馬海流が合流するため美しい熱帯魚も見られる。

住所:佐賀県唐津市鎮西町波戸 1628-1 お問い合わせ:090-3464-5337
 営業時間:[4～9月]9:00～18:00 [10～3月]9:00～17:00
 入館料:大人 560 円/小人 270 円(小学生未満無料) 休館日:年中無休

QR
コード

名護屋城博物館

豊臣秀吉の朝鮮出兵(文禄・慶長の役)に際して出兵拠点として築かれた城である名護屋城に隣接する博物館。名護屋城博物館の常設展示は原始・古代から近現代にいたる日本列島と朝鮮半島との交流の歴史をメインテーマとした展示をしているほか、タブレット端末等を用いて再現CGを見ながら名護屋城跡を散策できる「バーチャル名護屋城」などを実施している。2022年3月には、豊臣秀吉ゆかりの「黄金の茶室」を再現し、博物館に展示する予定。

ひぜん夢美咲

写真	青い海と緑の鷹島に白い橋が映える、美しい景観が広がる地場産品直売所。地元の新鮮な農産物や魚介類を取り揃えている。 サツマイモとあんこの絶妙な甘さの夢美だんごも人気が高い。
	住所：佐賀県唐津市肥前町星賀甲2186 お問い合わせ：0955-54-2166 営業時間：9:00～17:00 休館日：[11～2月]第3火曜日 [3～10月]定休日なし

7-5 令和4年度において取り組むべき重点事項

広域観光の推進に向けて、実施・推進すべき重点事項を以下に示す。

(1) 中間支援組織（地域商社など）と事業者が連携した実行体制の確立

広域観光の持続的な推進に向けては、事業者中心による自発的な実践・行動等が理想となるが、その活動の発起や、事業者中心による活動に至るまでの、広域観光推進の旗振り役は中間支援組織が中心となる。

このことから、中間支援組織が広域観光推進に向けて、事業者と連携したスムーズな動き出しや推進ができるよう、事業者のニーズ把握や、地域商社とともに連携できる事業者の発掘などを行うことで、中間支援組織と事業者が連携した実行体制を検討し、確立していくことが重要である。

(2) 情報発信戦略および営業戦略の構築

広域観光商品の販売においては、各ターゲットに合致した情報発信方法や誘客手法を検討する必要があるとともに、旅行商品の販売においては、旅行会社のニーズに合ったPR・営業行動が必要となる。

このことから、広域観光商品の造成とあわせて、情報発信ツールやデジタルツールの活用方法など、情報発信戦略や誘客手法を検討するとともに、旅行会社へのヒアリングやニーズ把握などの推進や、情報発信や旅行商品販売等のノウハウを有する企業との連携を推進するなど、営業戦略を確立していくことが重要である。

(3) 事業者のレベルアップに向けた事業者研修の推進

事業者中心の自発的な広域観光推進の促進や上場エリアの観光消費の底上げには、上場エリア各事業者の観光意識の醸成や、観光サービスの底上げが重要である。

また、広域検討会においても、事業者自身の観光客に対する「おもてなし力（タッチポイント）」の向上のほか、旅行会社などへの「営業力」、事業者自身がメディアとなった「情報発信力」などを底上げすることが、重要な観光推進のポイントとして挙げられている。

このことから、共創会議などを通じて、事業者が抱える観光推進の課題などを把握し、必要な研修プログラムを構築するなどにより、事業者のレベルアップを図る必要がある。

